

2. 学生の動向

2-1. 指導学生数 推移

2-1-1. 学部

	2 年次学生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
行動学	36	35	27
社会学	28	38	28
教育学	43	40	43
共生学	25	23	31
グローバル人間学			
人間科学コース	14	15	9
配属外	0	0	4
計	146	151	142

(人)

	3 年次学生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
行動学	35	38	37
社会学	41	30	40
教育学	40	46	43
共生学	30	27	26
グローバル人間学			
人間科学コース	13	14	15
配属外	0	0	0
計	159	155	161

(人)

	4 年次学生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
行動学	54	38	46
社会学	46	45	35
教育学	51	48	54
共生学	27	35	35
グローバル人間学	1	1	0
人間科学コース	12	15	15
配属外	0	0	0
計	191	182	185

(人)

学部卒業者	学部		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
行動学科目/専修	49	31	39
社会学科目/専修	40	40	32
教育学科目/専修	42	39	44
共生学科目/専修	20	28	18
グローバル人間学	0	0	0
人間科学コース	12	9	12
計	163	147	145

(人)

2-1-2. 博士課程前期

	前期1年生		
	R3年度	R4年度	R5年度
人間行動学	12	12	14
行動生態学	13	11	8
社会環境学	18	10	10
基礎人間科学	5	14	15
臨床教育学	23	20	14
教育環境学	7	12	12
未来共生学	13	13	15
グローバル共生学	11	10	8
計	102	102	96

(人)

	前期2年生		
	R3年度	R4年度	R5年度
人間行動学	13	14	16
行動生態学	13	16	12
社会環境学	24	24	11
基礎人間科学	12	7	16
臨床教育学	28	27	24
教育環境学	12	10	15
未来共生学	15	17	21
グローバル共生学	7	11	10
計	124	126	125

(人)

(前期3年以上の在籍を含む)

大学院博士前期課程 修了者	博士前期課程		
	R3年度	R4年度	R5年度
人間行動学	11	10	12
行動生態学	10	14	10
社会環境学	16	17	10
基礎人間科学	10	4	10
臨床教育学	24	23	19
教育環境学	8	7	8
未来共生学	11	11	18
グローバル共生学	6	10	8
計	96	96	95

(人)

2-1-3. 博士課程後期

	後期 1 年生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人間行動学	4	8	5
行動生態学	2	3	3
社会環境学	4	5	2
基礎人間科学	7	6	7
臨床教育学	3	8	7
教育環境学	3	4	5
未来共生学	6	4	6
グローバル共生学	5	4	2
計	34	42	37

(人)

	後期 2 年生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人間行動学	5	4	8
行動生態学	2	2	3
社会環境学	3	3	2
基礎人間科学	4	7	5
臨床教育学	9	3	8
教育環境学	2	3	4
未来共生学	9	6	7
グローバル共生学	3	5	4
計	37	33	41

(人)

	後期 3 年生		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人間行動学	13	9	6
行動生態学	2	3	3
社会環境学	6	8	4
基礎人間科学	23	19	23
臨床教育学	13	17	13
教育環境学	6	8	9
未来共生学	33	34	30
グローバル共生学	12	9	11
計	108	107	99

(人)

(後期 4 年以上の在籍を含む)

大学院博士後期課程 修了者	博士後期課程		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人間行動学	1	6	1
行動生態学	0	2	0
社会環境学	2	2	2
基礎人間科学	2	1	5
臨床教育学	0	3	1
教育環境学	0	1	1
未来共生学	2	7	9
グローバル共生学	3	2	4
計	10	24	23

(人)

(注)大学院博士後期課程修了者とは、学位取得者のことを指す。

(注)当該年度中の単位修得退学者を含む。

(注)当該年度の 9 月修了者及び早期修了者を含む。

【単位修得退学後3年以内の論文提出により修了した者の取扱い】

・当該年度の集計時点(3月1日)において在籍(在学・留学・休学)していれば在籍者に含む。単位修得退学が当該年度の集計時点より前の者は含まない。

・単位修得退学が当該年度内であれば修了者に含む。単位修得退学が当該年度より前であれば含まない。

2-2. 2023 年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 印刷中であっても掲載が決まっているものは、本年度実績として記載可。
2. 昨年度の発表・受賞・採択であっても、昨年度未申告のために未掲載のものは掲載。
3. 記載方法及び論文の審査有無は院生自身の自己申告による。

2-2-1. 行動学系

行動学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	78 名	76 名	97.4 %	54 名	69.2 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	森川 和則	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	成 里紗	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	観察距離がアイメイクによる目の過大視と魅力度評定に及ぼす影響	成里紗・森川和則・長島愛・岡崎俊太郎・松本聖子・多久和望	202310	フォーラム顔学 2023	—
国際会議 (proc なし)	The illusory effects of makeup on the perceived eye slant are asymmetric	Kazunori Morikawa・Hana Ogawa・Risa Sung	202308	The European Conference on Visual Perception 2023	—

指導教員	入戸野 宏	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	石田 海	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Statistical Learning of Chord-Transition Regularities in a Novel Equitempered Scale: An MMN Study	Kai Ishida & Hiroshi Nittono	202310	Neuroscience Letters 815,15,137478	○
学術論文	Effects of the cardiac cycle on auditory processing: A preregistered study on mismatch negativity	Lingjun Li, Kai Ishida, Keita Mizuhara, Robert J. Barry, & Hiroshi Nittono	202312	Psychophysiology e14506	○
学術論文	Relationship between schematic and dynamic expectations of melodic patterns in music perception	Kai Ishida & Hiroshi Nittono	202402	International Journal of Psychophysiology 196,112292	○
学術論文	事象関連電位の波形を視覚化する Web アプリ	石田海・入戸野宏	202401	生理心理学と精神生理学 42,1	○
学会・研究会等発表	潜在学習により新しい和音遷移パターンは獲得されるか？	石田海・入戸野宏	202305	第 41 回日本生理心理学会大会	—
解説・総説	事象関連電位 (ERP) ——皮質聴覚処理の指標として——	石田海・入戸野宏	202310	日本音響学会誌 79,7,348-354	—
解説・総説	音楽における調性的期待：事象関連脳電位からわかること	石田海・入戸野宏	202312	心理学評論 66,2,193-214	○
国際会議 (proc なし)	Statistical learning of artificial chord transition rules does not produce a deviance-related negativity in a different auditory context	Kai Ishida & Hiroshi Nittono	202306	International Journal of Psychophysiology 188,Supplement The 21st World Congress of Psychophysiology (IOP2023)	○

学生氏名	石田 友美	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Effects of sensory modality and task relevance on omitted stimulus	Tomomi Ishida & Hiroshi Nittono	202311	Experimental Brain Research 242,47-57	○

学生氏名	齊藤 初音	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	セルフタッチが課題目標へのコミットメントに与える影響	齊藤初音・入戸野宏	202307	日本認知心理学会第 21 回大会	—

学生氏名	武重 百香	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	道具の刃先と握り手の位置が表示画面のタッピング反応に与える影響	武重百香・郷原皓彦・入戸野宏	202311	基礎心理学研究 42,1,47-52	○	

学生氏名	LI LINGJUN	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	Effects of the cardiac cycle on auditory processing: A preregistered study on mismatch negativity	Lingjun Li, Kai Ishida, Keita Mizuhara, Robert J. Barry, Hiroshi Nittono	202312	Psychophysiology e14506	○	

学生氏名	新井 奏音	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	森林音と都市音の聴取が心拍・事象関連電位・気分に及ぼす影響	新井奏音, 梅垣佑介, 芝崎学, 中田大貴, 久保博子, 入戸野宏	202305	第 41 回日本生理心理学会大会	—	

学生氏名	中村 野々香	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	「かわいい」感情を抑制する要因についての検討——期待の裏切りに着目して——	中村野々香・入戸野宏	202309	日本心理学会第 87 回大会	—	

学生氏名	八木 紅音	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	乳児顔に対する表情筋反応は随意的に表出する微笑よりも小さい	八木(大橋)紅音・入戸野宏	202305	第 41 回日本生理心理学会	—	

指導教員	篠原 一光	講座/研究分野	応用認知心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	SHIN YURIE	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	視覚探索における文脈手がかり効果~妨害刺激の位置と形状の影響	Shin Yurie・篠原一光・川島朋也	202309	日本心理学会第 87 回大会	—	

学生氏名	大江 龍太郎	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	BGM は持続的注意への動機づけを高めるか	大江龍太郎・川島朋也・篠原一光	202309	日本心理学会第 87 回大会	—	

学生氏名	長谷川 凌	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	思考発話法における発話量の個人差とワーキングメモリ容量の関係	長谷川凌・川島朋也・篠原一光	202402	認知心理学研究 21,2,1-12	○	
学会・研究会等発表	カラーマッチンググラフは通常の折れ線グラフよりも解釈を促進するか	長谷川凌・川島朋也・篠原一光	202312	2023 年度日本人間工学会関西支部大会	—	

学生氏名	LIU JIN FAN	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	音声アシスタントの使用が視覚的注意に及ぼす影響	LIUJINFAN・木村司・川島朋也・篠原一光	202312	2023 年度日本人間工学会関西支部大会	—	

指導教員	三浦 麻子	講座/研究分野	社会心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	WEN RUOHAN	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	多次元オンライン脱抑制尺度 (MMOD) の作成および妥当性と信頼性の検討	温若寒・三浦麻子	202307	社会心理学研究 39,1,1-14	○
学会・研究会等発表	オンライン脱抑制がどのようにネット上での行動に影響を及ぼすか	温若寒・三浦麻子	202309	日本社会心理学会第 64 回大会	—
学会・研究会等発表	オンライン脱抑制の影響メカニズムを検討する—ネット掲示板閲覧場面を用いて—	温若寒・三浦麻子	202402	第 3 回計算社会科学大会(CSSJ2024)	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	特別研究員奨励費(オンライン脱抑制：発生要因および影響メカニズムの検討)	温若寒	202304	日本学術振興会

学生氏名	櫻井 直子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	昇進意欲の男女比較 — 自発的昇進意欲・受動的昇進意欲に注目して —	櫻井直子・三浦麻子	202309	産業・組織心理学会 第 38 回大会	—
学会・研究会等発表	性役割は男女の昇進意欲に影響を与えるか	櫻井直子・三浦麻子	202309	日本社会心理学会 第 64 回大会	—

学生氏名	李 菴理	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	非就業者への自己責任論に対する相対的剥奪の効果	李菴理・金政祐司・三浦麻子	202402	社会心理学研究 39,3,1-11	○
学会・研究会等発表	相対的剥奪が非就業者への自己責任論に及ぼす影響—シナリオ刺激を用いた実験の追試—	李菴理・三浦麻子	202309	日本社会心理学会第 64 回大会	—

指導教員	綿村 英一郎	講座/研究分野	社会心理学
------	--------	---------	-------

学生氏名	ZHAO XINYU	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	What counts as hypocrisy for audiences: a conjoint analysis of elements influencing hypocrisy judgments	Xinyu Zhao, Eiichiro Watamura	202308	SARMAC Nagoya 2023 (Nagoya)	○
学会・研究会等発表	親ガチャ信念をもたらす個人差要因に対する探索的な研究	趙心語・綿村英一郎	202309	日本グループダイナミクス学会第 69 回大会 (高知)	—
学会・研究会等発表	言行不一致に対する道徳判断を規定する個人差要因	趙心語・綿村英一郎	202312	第 16 回日本人間行動進化学会大会 (大阪)	—
学会・研究会等発表	観察者が思う偽善：不一致以外の要素	趙心語	202308	日本心理学会「留学生ネットワーク」教育心理勉強会第 35 回 (オンライン)	—
学会・研究会等発表	言行不一致に対する道徳判断を規定する個人差要因	趙心語	202311	日本心理学会「留学生ネットワーク」教育心理勉強会第 37 回 (オンライン)	—

学生氏名	長江 優希	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Relationship between music irrational beliefs and music performance anxiety	Yuki Nagae & Eiichiro Watamura	202308	SARMAC 2023	○
学会・研究会等発表	親密な関係破綻後のストーキング関連行動についての探索的調査—経験率および自己制御能力との関連—	長江 優希・綿村 英一郎	202309	日本社会心理学会第 64 回大会	—

学生氏名	LIU YUSHAN	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	変動の認知が罰の判断に及ぼす影響	劉侯杉・綿村英一郎	202312	第 16 回日本人間行動進化学会大会	—

指導教員	権藤 恭之	講座/研究分野	臨床死生学・老年行動学
------	-------	---------	-------------

学生氏名	佐藤 都也子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中高年者の「術後せん妄」疑似体験時に取得る態度と性別・性格特性との関連	佐藤 都也子・権藤 恭之・竹 明美・平上 久美子・片山 圭子	202306	第 65 回日本老年社会科学学会大会	○				
学会・研究会等発表	看護師中心の多職種チームによる高齢入院患者へのせん妄予防対策	佐藤 都也子・眞鍋 芳恵・片山 圭子・小玉 伽那・鍋谷 佳子・竹屋 泰・岩崎 朋之	202312	第 43 回日本看護科学学会学術集会	○				
学会・研究会等発表	Relationship of individual attitudes toward simulated postoperative delirium to Health Locus of Control and Big-5 personality traits.	Tsuyako Sato, Yasuyuki Gondo, Akemi Take, Kumiko Hirakami, Keiko Katayama	202403	EAFONS 2024: Generating Impact Through Doctoral Nursing Education	○				
学会・研究会等発表	Preventing Delirium in Older Hospitalized Patients: The Role of Nurses in Multidisciplinary Teams	Tsuyako Sato, Yoshie Manabe, Keiko Katayama, Kana Kodama, Haruka Mashita, Kazuki Fukuyama, Mei Hamaguchi, Kenji Yoshiyama, Youichi Takami, Takashi Suehiro, Yoshiko Nabetani, Yasushi Takeya, Tomoyuki Iwasaki	202403	EAFONS 2024: Generating Impact Through Doctoral Nursing Education	○				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	基盤研究(C)	佐藤 都也子, 竹 明美, 平上 久美子	202304	日本学術振興会

学生氏名	菊地 亜華里	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	高齢者の余暇活動実施状況一性別・居住地域・居住形態との関連一	菊地亜華里・石岡良子・小川まどか・増井幸恵・神出計・池邊一典・石崎達郎・新井康通・権藤恭之	202308	応用老年学 17,1,32-41	○				
学会・研究会等発表	コロナ禍で見られたエイジズムとその関連要因	菊地亜華里・平井啓・神出計・池邊一典・増井幸恵・石崎達郎・権藤恭之	202308	第 6 回「生涯学」領域会議(金沢)	—				
学会・研究会等発表	不確実性の回避傾向尺度の開発:比較可能な日本語版及び英語版尺度の検討	菊地亜華里・廣川空美・Peter Martin・程雨田・権藤恭之	202310	第 18 回日本応用老年学会(大阪)	○				
学会・研究会等発表	国や地域の快樂主義と高齢者の幸福感との関連:SHARE データによる 25 カ国のマルチレベル分析	程雨田・菊地亜華里・廣川空美・権藤恭之	202310	第 18 回日本応用老年学会(大阪)	○				
国際会議(proc なし)	Cultural differences in the occurrence mechanism of ageism	Akari Kikuchi, Yasuyuki Gondo, Peter Martin	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023(横浜)	○				
国際会議(proc なし)	The Perceptions and Experiences of Graduate Students: Evidence from a Japanese National Research University	Lilan Chen, Tatsuo Kawashima, Akari Kikuchi, Yuichiro Wajima	202401	The IAFOR International Conference on Education (IICE2024, Hawaii)	○				

学生氏名	篠崎 未生	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Prediction of Nursing Home Admission Using the FRAIL-NH Scale Among Older Adults in Post-Acute Care Settings.	Yasuoka, M., Shinozaki, M., Kinoshita, K., Li, J., Takemura, M., Yamaoka, A., Arahata, Y., Kondo, I., Arai, H., & Satake, S.	202303	The journal of nutrition, health & aging 27,3,213-218 https://doi.org/10.1007/s12603-023-1893-1	○				

学術論文	Development and validation of the Japanese version of the Bedtime Procrastination Scale (BPS-J).	Hazumi, M., Kawamura, A., Yoshiike, T., Matsui, K., Kitamura, S., Tsuru, A., Nagao, K., Ayabe, N., Utsumi, T., Izuhara, M., Shinozaki, M., Takahashi, E., Fukumizu, M., Fushimi, M., Okabe, S., Eto, T., Nishi, D., & Kuriyama, K.	202402	BMC Psychology 12,1,Article number: 56 https://doi.org/10.1186/s40359-024-01557-4	○
学術論文	Prediction of Nursing Home Admission Using the FRAIL-NH Scale Among Older Adults in Post-Acute Care Settings.	Yasuoka, M., Shinozaki, M., Kinoshita, K., Li, J., Takemura, M., Yamaoka, A., Arahata, Y., Kondo, I., Arai, H., & Satake, S.	202303	The journal of nutrition, health & aging 27,3,213-218 https://doi.org/10.1007/s12603-023-1893-1	○
学術論文	Association between health anxiety dimensions and preventive behaviors during the COVID-19 pandemic among Japanese healthcare workers.	Nagao, K., Yoshiike, T., Okubo, R., Matsui, K., Kawamura, A., Izuhara, M., Utsumi, T., Hazumi, M., Shinozaki, M., Tsuru, A., Sasaki, Y., Takeda, K., Komaki, H., Oi, H., Kim, Y., Kuriyama, K., Hidehiko, T., Miyama, T., & Nakagome, K.	202311	Heliyon 9,11,E22176 https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2023.e22176	○
学会・研究会等発表	認知症への移行を予測する立方体透視図模写画像の特徴抽出及びモデルの探索	篠崎 未生・権藤 恭之・鈴木 貴・三浦 利奈・櫻井 孝・武田 章敬・新畑 豊	202310	第 18 回日本応用老年学会大会	○
学会・研究会等発表	認知機能障害診断	篠崎 未生・朝倉 暢彦	202312	2023 年度数理腫瘍学年末研究会	—
学会・研究会等発表	認知症への移行リスクが高い患者を検出するための特徴量抽出及び機械学習モデルの開発	篠崎 未生・菱田 寛之・権藤 恭之・三浦 利奈・櫻井 孝・武田 章敬・新畑 豊・鈴木 貴	202403	日本応用数理学会第 20 回研究部会連合発表会	○
国際会議 (proc なし)	Exploration of neuropsychological test measures to discriminate between patients with subjective cognitive impairment who will and will not develop cognitive decline.	Shinozaki, M., Gondo, Y., Miura, R., Satake, S., Takeda, A., Arahata, Y., Sakurai, T.	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress, (Yokohama)	○
国際会議 (proc なし)	Frailty-related factors affecting the life expectancy of older hospitalized patients after acute care.	Shinozaki, M., Gondo, Y., Yasuoka, M., Tanimoto, M., Yamaoka, A., Satake, S., Kondo, I., Arai, H., Arahata, Y.	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress, (Yokohama)	○
国際会議 (proc なし)	Aging moderates the relationship between physical functional decline and depressive mood in older adults with advanced frailty.	Shinozaki, M., & Gondo, Y.	202306	(Geriatrics 5 Symposium: Psychological resources for aging well). IAGG Asia/Oceania Regional Congress, (Yokohama)	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 5 年度 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	篠崎 未生	202304	日本学術振興会

学生氏名	ZHANG XINYU	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	百寿者の心理的側面—認知と精神的健康	権藤恭之・張欣宇	202401	医学のあゆみ 288,4,291-295	—
国際会議 (proc あり)	Understanding centenarians: a meta-synthesis of qualitative research	Xinyu Zhang, Chihiro Nakajima, Yasuyuki Gondo	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress	○
国際会議 (proc あり)	Centenarian Physical Function Evolution and COVID-19 Impact: A Study in Japan	Xinyu Zhang, Yasuyuki Gondo	202311	Gerontological Society of America (GSA)	○

国際会議 (proc あり)	Improving Cognitive Function in the New Cohort—But Only for Men. Findings From the Kyotango Centenarian Study	Yasuyuki Gondo, Xinyu Zhang	202311	Gerontological Society of America (GSA)	○
国際会議 (proc なし)	Understanding centenarians: a meta-synthesis of qualitative research	Xinyu Zhang, Chihiro Nakajima, Yasuyuki Gondo	202305	The International Centenarian Consortium (ICC)	—

学生氏名	CHENG YUTIAN	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	国や地域の快樂主義と高齢者の幸福感との関連：SHARE データによる 25 カ国のマルチレベル分析	程雨田・菊地亞華里・廣川空美・権藤恭之	202310	第 18 回日本応用老年学会大会	—

学生氏名	LI XIAOXUAN	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	The Acceptability of a Multisensory VR Game for Older Adults	Xiaoxuan Li; Xiangshi Ren; Xin Suzuki; Naoaki Yamaji; Johnny Fung; Yasuyuki Gondo	202310	IEEE International Symposium on Mixed and Augmented Reality (ISMAR)	○
学会・研究会 等発表	Xiaoxuan Li; Xiangshi Ren; Xin Suzuki; Naoaki Yamaji; Johnny Fung; Yasuyuki Gondo	Xiaoxuan Li; Xiangshi Ren; Xin Suzuki; Naoaki Yamaji; Johnny Fung; Yasuyuki Gondo	202309	生涯学 2023 年度第 1 回領域会議	—
国際会議 (proc なし)	A VR Game System for Enhancing the Health of Older Adults	Xiaoxuan Li; Xin Suzuki; Naoaki Yamaji; Johnny Fung; Toshiaki, O.; Xiangshi Ren; Yasuyuki Gondo	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	2022 年度 研究調査助成	LI XIAOXUAN	202303	公益財団法人電気通信普及財団

学生氏名	奥田 倍子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	意思決定プロセスにおける年齢差に関する検討	奥田倍子・権藤恭之	202310	第 18 回日本応用老年学会大会	○

学生氏名	WANG CAN	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	A.Development of a new scale able to measuring measure the function of leisure activities among the elderly.	Wang,C.,Gondo,Y.,Masui,Y.,Ogawa,M.,Kasuga	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress, Yokohama.	—
学会・研究会 等発表	余暇活動の機能尺度の再現性および余暇活動の機能と高齢者の心身健康との関連性の検討	王璨, 権藤恭之, 増井幸恵, 春日彩花, 小川まどか, 安元佐織	202310	第 18 回日本応用老年学会大会	—

学生氏名	中島 千宏	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	The relationship between gerotranscendence and feelings toward nature in Japanese older people	Chihiro Nakajima, Yasuyuki Gondo, Yukie Masui, Ayaka Kasuga, Madoka Ogawa, Saori Yasumoto	202306	IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023	○
学会・研究会 等発表	Understanding Centenarians:a Meta-synthesis of Qualitative Research	Xinyu Zhang, Chihiro Nakajima, Yasuyuki Gondo	202306	The International Centenarian Consortium 2023	—

学生氏名	坂口 奈緒	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	加齢に対する信念の構成要素の検討	坂口奈緒・権藤恭之・片桐恵子・石松一真・西田裕紀子・石岡良子	202310	第18回日本応用老年学会大会	○

指導教員	三好 恵真子	講座/研究分野	環境行動学
------	--------	---------	-------

学生氏名	WANG SHINUO	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	結婚移民として日中「二つの東北」を生きる中国人女性の歴史実践—ライフストーリーから読み解かれる「満洲」記憶	王石諾・三好恵真子	202312	生活学論叢 43,28-42	○
学会・研究会等発表	日中「二つの東北」を生きる結婚移民の中国人女性の歴史実践	王石諾・三好恵真子	202306	第50回日本生活学会研究発表大会	○
学会・研究会等発表	中国社会転換期における「東北離れ」をめぐる女性たちの葛藤—結婚移民として中国東北から日本の東北へと移動した経験から捉える	王石諾・三好恵真子	202311	日本オーラル・ヒストリー学会(JOHA)第21回大会	—
大学・研究所等の報告	レスポンス②：東北出身の結婚移民女性の語りをどう捉えるのか—「典型的単位社会」を一つの手掛かりとして	王石諾	202303	『この50年の歩みを共に考える—それぞれの出来事をいま振り返る意味—（「21世紀課題群と東アジアの新環境」シンポジウムシリーズ①）』17,187-195	—
大学・研究所等の報告	結婚移民として日中「二つの東北」を生きる中国人女性のライフストーリー—対話的インタビューから見えてくる戦争認識とその継承—	王石諾	202310	大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」（記憶の継承ラボ）シンポジウム「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	結婚移民として日中「二つの東北」を生きる中国人女性のライフストーリー—「単位社会」の崩壊と異国への漂流	王石諾・三好恵真子	202308	日本生活学会 2023年度生活学プロジェクト助成

学生氏名	吉成 哲平	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「私性」から「公性」へと拓かれてゆく「写真実践」—復帰前後の沖縄での表現を巡る東松照明の模索—	吉成哲平・三好恵真子	202312	生活学論叢 43,43-57	○
学術論文	「戦後」の生活者の思想を討究する「写真実践」の方法論的可能性—ひとびとの距離を埋めゆく東松照明の重層的経験の意味—	吉成哲平・三好恵真子	202403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 50,印刷中	—
学術論文	Photographers Confronted with the Turbulence Around 1970: Reflections on documents since the meiji period through “A Century of Japanese Photography”	Teppei Yoshinari, Emako Miyoshi	202403	Osaka Human Sciences 10,印刷中	—
学会・研究会等発表	「私性」から「公性」へと開かれてゆく写真表現—復帰後の沖縄での記録を巡る東松照明の模索—	吉成哲平・三好恵真子	202306	日本生活学会第50回研究発表大会	—
学会・研究会等発表	「私性」から「公性」へと拓かれてゆく「写真実践」—写真家 東松照明が直面し埋めようとした沖縄の現実との距離	吉成哲平	202310	大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・拠点形成プロジェクト「21世紀課題群と東アジアの新環境:実践志向型地域研究の拠点構築」;大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」（記憶の継承ラボ）シンポジウム「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」	—
学会・研究会等発表	復帰前後の沖縄の現実への内省から埋めようとした「距離」—写真家 東松照明がひとびとの人生から受け止めていった重層的歴史—	吉成哲平・三好恵真子	202311	日本オーラル・ヒストリー学会第21回大会	—
学会・研究会等発表	敗戦と占領体験から問い直され続けた「アメリカニゼーション」—写真家 東松照明が捉えた「戦後」を生きるひとびとの葛藤—	吉成哲平・三好恵真子	202312	社会文化学会第26回全国大会	—

学会・研究会等発表	記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ	山口政則・松尾眞一郎・三好恵真子・吉成哲平・王石諾・冷昕媛	202310	大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・拠点形成プロジェクト「21世紀課題群と東アジアの新環境:実践志向型地域研究の拠点構築」;大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」(記憶の継承ラボ)シンポジウム「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」	—
学会・研究会等発表	「写真もまた生きている」—東松照明が生活の現場から証した長崎の被爆者の生と死の意味を受け止めて—	吉成哲平	202402	大阪大学大学院人間科学研究科共生の人間学研究室(主催);大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」(記憶の継承ラボ)(共催)シンポジウム「出来事の記録と生の記憶 クロード・ランズマン『SHOAH』をみる」	—
大学・研究所等の報告	「私性」から「公性」へと拓かれてゆく「写真実践」—写真家 東松照明が直面し埋めようとした沖縄の現実との距離	吉成哲平	202403	『OUFCブックレット』三好恵真子・吉成哲平編 第一部報告①を執筆 18,印刷中	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	日本生活学会 2023 年度生活学プロジェクト助成	吉成哲平・三好恵真子	202308	日本生活学会

学生氏名	JARGALSAIKHAN LKHAMAA	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	モンゴル国におけるタルバガン・マーモットの保全と保護をめぐる葛藤—再導入事業の関係者の語りから見えてくるもの—	ジャルガルサイハン・ラマー、三好恵真子	202306	日本生活学会 第 50 回大会 発表梗概集 50,32-33 日本生活学会 第 50 回大会	—				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェロローシップ	JARGALSAIKHAN LKHAMAA	202304	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構

学生氏名	LENG XINYUAN	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国社会転換期における初代環境 NGO リーダーと環境ガバナンスの参加 —ライフヒストリーから見る内発的主体性—	冷昕媛, 三好恵真子	202306	日本生活学会第 50 回研究発表大会	○				
学会・研究会等発表	人間と自然が共存するアジア的理性の創出: 中国初代 NGO リーダー万氏のライフヒストリーから読み解く	冷昕媛, 三好恵真子	202311	日本オーラル・ヒストリー学会 第 21 回大会	○				
国際会議 (proc なし)	The Practice of the First-generation Environmental NGO and Environmental Governance in China's Period of Social Transformation: Intrinsic Autonomy from a Life History	Xinyuan Leng, Emako Miyoshi	202307	7th Annual ARNOVA-Asia Conference: The Roles of Nonprofit Organizations for Sustainable Civil Society	○				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	中国社会転換期における環境 NGO と環境ガバナンスの構築 —ライフヒストリーから見る内発的自主性—	冷 昕媛	202308	日本生活学会 日本生活学会 2023 年度生活学プロジェクト助成

学生氏名	三待 栗	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	エリア・スタディーズ 76 デンマークを知るための 70 章 第 2 版	村井誠人	202401	『エリア・スタディーズ 76 デンマークを知るための 70 章 第 2 版』村井誠人編 第 6 4 章を執筆 339-342	—				

学生氏名	SHANGGUAN SHICONG	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国のコロナ常態化に生きる人々の暮らし—政策文書とマスメディアのテキスト分析に基づく一考察—	上官世璵 胡毓瑜 三好恵真子	202306	日本生活学会第 50 回研究発表大会	—

指導教員	中井 宏	講座/研究分野	安全行動学
------	------	---------	-------

学生氏名	小倉 有紗	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	心理的安全性および安全に関する発言のしやすさが安全行動に及ぼす影響	堀下 智子・田中 春奈・和田 一成・小倉有紗・吉田 裕	202309	産業・組織心理学会第 38 回大会	—
大学・研究所等の報告	リスク感受性向上に関する研究	小倉 有紗	202306	あんけん〜JR 西日本安全研究所研究成果レポート〜 16,14-15 西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所	—
大学・研究所等の報告	リスク感受性向上に関する研究—現場作業員への効果的な情報発信に関する検討—	小倉 有紗	202306	安全研究所ジャーナル 16,13-16 西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所	—

学生氏名	NGUYEN PHUONG ANH	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	新型コロナワクチン追加接種を受けたい人と受けたくない人の特徴について	Nguyen Phuong Anh・秋保亮太・中井宏	202311	関西心理学会第 1 3 4 回大会	—

指導教員	鹿子木 康弘	講座/研究分野	比較発達心理学
------	--------	---------	---------

学生氏名	石川 萌子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Relationship between executive function and persistence in 5-year-olds	Moeko Ishikawa, Yusuke Moriguchi, & Yasuhiro Kanakogi	202307	Cognitive Development 67,101361-101361	○
学術論文	乳幼児期における粘り強さ一問題点と今後の課題—	石川萌子・鹿子木康弘	202403	心理学評論 66,4	○
学会・研究会等発表	戦略の使用やペダゴジカルな質問が 5 歳児の粘り強さに与える影響	石川萌子・鹿子木康弘	202308	日本赤ちゃん学会第 23 回学術集会	—
学会・研究会等発表	子どものグリットはどのように計測されるのか	石川萌子	202310	第十回認知科学若手の会ワークショップ ～子どもと大人の世界を考える～	—
学会・研究会等発表	戦略の使用とペダゴジカルな質問は就学前児の粘り強さを高めるのか	石川萌子・鹿子木康弘	202311	関西心理学会第 134 回大会	—
国際会議 (proc なし)	Does the instruction manipulating the use of strategies and pedagogical questions affect 5-year-olds' persistence?	Moeko Ishikawa, Yasuhiro Kanakogi	202401	the 14th annual BCCCD meeting	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	研究奨励賞	石川萌子	202312	関西心理学会第 134 回大会
助成金	令和 5 年度 科学研究費補助金 特別研究員奨励費	石川萌子	202304	日本学術振興会

学生氏名	田辺 和奏	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	生活習慣改善に対する「無関心層」に関する新たなセグメンテーションアルゴリズムの開発	平井 啓, 田辺和奏, 岡浩一朗, 佐藤洋子, 中谷英仁, 佐々木敏, 水野篤, 山本精一郎	202312	第 30 回日本行動医学会学術総会	—

学生氏名	戸田 七鈴	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	違反の繰り返しが 6 歳児の違反者に対する評価に与える影響	戸田七鈴・戸田梨鈴・鹿子木康弘	202308	日本赤ちゃん学会第 2 3 回学術集会	○

学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの機能に関する理解の発達	戸田梨鈴・戸田七鈴・鹿子木康弘	202308	日本赤ちゃん学会第23回学術集会	○
国際会議 (procなし)	Understanding of the functions of forgiveness among preschoolers	Rizu Toda, Nazu Toda, Hiromichi Hagihara, Yasuhiro Kanakogi	202401	14th annual BCCCD meeting	○

学生氏名	戸田 梨鈴		学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの機能に関する理解の発達	戸田梨鈴・戸田七鈴・鹿子木康弘	202308	日本赤ちゃん学会第23回学術集会	○	
学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの理解の発達	戸田梨鈴	202310	第10回認知科学若手の会ワークショップ	—	
学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの理解の発達	戸田梨鈴	202403	日本発達心理学会34回大会	—	
国際会議 (procなし)	Understanding of the functions of forgiveness among preschoolers	Rizu Toda, Nazu Toda, Hiromichi Hagihara, Yasuhiro Kanakogi	202401	14th annual BCCCD meeting	○	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	学生発表賞 (YIA)	戸田梨鈴	202308	日本赤ちゃん学会

指導教員	八十島 安伸	講座/研究分野	行動生理学
------	--------	---------	-------

学生氏名	SHAN XIAOCHEN		学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	完了行動における継時的負の対比効果での報酬予期と文脈手がかりの関連性	SHAN XIAOCHEN・chongmankhong Jilada・八十島安伸	202309	日本味と匂学会第57回大会	—	
学会・研究会等発表	味覚先行経験による味覚報酬性の相対化への味覚報酬予期に関わる記憶の役割	Shan Xiaochen・Chongmankhong Jilada・Yasunobu Yasoshima	202312	食欲・食嗜好研究会(第8回)	—	

指導教員	山本 倫生	講座/研究分野	行動統計科学
------	-------	---------	--------

学生氏名	瀬戸 ひろえ		学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	Seasonal variations of the prevalence of metabolic syndrome and its markers using big-data of health check-ups	Hiroe Seto; Hiroshi Toki; Shuji Kitora; Asuka Oyama; Ryohei Yamamoto	202401	Environmental Health and Preventive Medicine 29,2	○	
学会・研究会等発表	確率予測モデルの変数に基づくキャリブレーション評価の検討	瀬戸ひろえ, 木虎秀二, 山本倫生	202305	日本分類学会第42回大会	—	
学会・研究会等発表	勾配ブースティング決定木とランダムフォレストの不均衡データに対する確率予測精度	瀬戸ひろえ	202308	統計サマーセミナー2023	—	
学会・研究会等発表	機械学習モデルと回帰モデルの変数ベースのキャリブレーションの比較	瀬戸ひろえ	202312	2023年度 日本分類学会シンポジウム	—	
学会・研究会等発表	多水準の質的説明変数を用いた分類木の作成	前川 眞一, 瀬戸 ひろえ, 山下 直人	202312	2023年度 日本分類学会シンポジウム	—	

学生氏名	嶋田 直也		学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	グループ L0 ノルムを用いた変数選択を伴う行列分解因子分析	嶋田直也, 山本倫生	202305	日本分類学会 第42回大会	—	
学会・研究会等発表	Factor analysis with variable selection via group L0 penalty	Shimada, N., Yamamoto, M.	202307	Data Science, Statistics & Visualisation (DSSV) 2023	○	
学会・研究会等発表	行列分解モデルを用いた変数選択を伴う因子分析	嶋田直也, 山本倫生	202308	日本行動計量学会第51回大会	—	

学会・研究会等発表	Variable selection methods in factor analysis via the group L0 norm	Shimada, N., Yamamoto, M	202309	The 8th Japanese-German Symposium on Classification (JGSC2023)	—
学会・研究会等発表	Meta-learner を用いた不均衡データに対する媒介分析の提案	嶋田直也, 山本倫生	202312	2023 年度 日本分類学会シンポジウム	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	日本分類学会第 42 回大会優秀学生発表賞	嶋田 直也	202305	日本分類学会
助成金	国際学会派遣	嶋田直也	202305	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	坪田 有司	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	An alternative model-based approach to causal mediation analysis with ordinal outcomes	Tsubota, Y., Yamamoto, M.	202307	Data Science, Statistics & Visualisation (DSSV) 2023	○
国際会議 (proc なし)	Causal mediation analysis for binary outcomes with the complementary log-log link	Tsubota, Y., Yamamoto, M.	202310	The 8th Japanese-German Symposium on Classification (JGSC2023)	○

学生氏名	橋本 捷矢	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Excessive Altruism and Its Underlying Motivation: Effects on Likability in Japan and the US	Katsuya Hashimoto, Kuniyuki Nishina, Asako Miura	202307	Letters on Evolutionary Behavioral Science 14,2,48-52	○

指導教員	中野 良彦	講座/研究分野	生物人類学
------	-------	---------	-------

学生氏名	藤原 峻宇	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	テナガザル・ヒト・ニホンザルの樹上二足歩行の比較	藤原峻宇、伊藤幸太、設楽哲弥、有竹環、中野良彦	202310	第 77 回日本人類学会大会	—
学会・研究会等発表	ニホンザルとの比較から見るヒトの中殿筋形態の二足性への適応：筋作用を指標として	設楽哲弥、後藤遼佑、時田幸之輔、伊藤幸太、藤原峻宇、中野良彦	202310	第 77 回日本人類学会大会	—
学会・研究会等発表	移動運動様式の変化がニホンザル中殿筋の筋作用へもたらす影響	設楽哲弥、伊藤幸太、藤原峻宇、後藤遼佑、平崎鋭矢、中野良彦	202310	第 77 回日本人類学会大会	—

指導教員	山田 一憲	講座/研究分野	比較行動学
------	-------	---------	-------

学生氏名	SUBIAS LORRAINE	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Metacognition in wild Japanese macaques: cost and stakes influencing information-seeking behavior.	Subias Lorraine, 勝野吏子, 山田一憲	202311	Animal Cognition To be published	○
学会・研究会等発表	Experimental study of metacognition in free-ranging group of Japanese macaques.	Subias Lorraine, 勝野吏子, 山田一憲	202307	39Th Annual Meeting of the Primate Society of Japan (Kobe).	—
学会・研究会等発表	Factors influencing information-seeking in Japanese macaques.	Subias Lorraine, 勝野吏子, 山田一憲	202310	83rd Congress of Japanese Society of Animal Psychology (Tokyo).	—
国際会議 (proc なし)	Les macaques japonais savent-ils qu'ils ne savent pas ?	Subias Lorraine, 勝野吏子, 山田一憲	202305	52nd Symposium of the French Society for the Study of Animal Behavior (Tours, France).	—

学生氏名	山本 誉	学年	DC2
------	------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト (継続)	山本誉	202304	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構

学生氏名	片山 洗彰	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	嵐山ニホンザル集団のパーソナリティ測定—異なる測定方法でパーソナリティは一致するか—		片山洗彰・山田一憲・中道正之	202309	パーソナリティ研究 32,139-139 日本パーソナリティ心理学会第 32 回大会	—			
学会・研究会等発表	Comparison of personality structure in Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>) with those of other non-human primates using personality ratings		片山洗彰・山田一憲・中道正之	202310	動物心理学研究 73,2,173-174 第 83 回日本動物心理学会大会	—			

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	片山 洗彰	202304	大阪大学

学生氏名	奈良崎 泉	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	科学コミュニケーションを用いた動物の行動観察法普及のための取り組み		奈良崎泉, 栢優花, 山田一憲, 早川昌志	202311	日本サイエンスコミュニケーション協会誌 13,2,14-21	○			
学会・研究会等発表	神戸どうぶつ王国におけるハシビロコウの行動の季節変化		奈良崎泉, 長嶋敏博, 佐藤哲也, 勝野史子, 山田一憲	202308	第 6 回野生動物保全繁殖研究会	—			
学会・研究会等発表	飼育ハシビロコウにおける活動性と繁殖行動の季節変化		奈良崎泉, 長嶋敏博, 佐藤哲也, 勝野史子, 山田一憲	202311	日本動物行動学会 42 回大会	—			

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	奈良崎泉	202304	科学技術振興機構

学生氏名	TRINH THIEN NGAN	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Just teasing! Exploring tease-like interactions in orangutans at Tama Zoological Park		Trinh T.Ngan, Katsu Noriko, Yamada Kazunori	202402		—			

学生氏名	中岡 至	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	地獄谷野猿公苑のニホンザル (<i>Macaca fuscata</i>) 集団における温泉での水飲み行動: 川との比較による体温維持仮説の検証		中岡至	202307	第 39 回日本霊長類学会大会	—			
学会・研究会等発表	温泉での水飲み行動がニホンザルの体温調節に与える影響の検討		中岡至	202311	日本動物行動学会第 42 回大会	—			

学生氏名	根地嶋 勇人	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ニホンザルにおける母親から 1 歳児への攻撃がもたらす利益		根地嶋勇人, 上野将敬	202307	第 39 回日本霊長類学会	—			
学会・研究会等発表	Do mothers of Japanese macaque profit from the rejection accompanied by physical aggression?"		Yuto Neishima and Masataka Ueno	202310	日本動物心理学会第 83 回大会	—			

2-2-2. 社会学・人間学系

社会学・人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	95 名	84 名	88.4 %	28 名	29.5 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	川端 亮	講座/研究分野	現代社会と社会理論
------	------	---------	-----------

学生氏名	峯岸 優太	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	日本において改宗ムスリムであるということ～外国人ムスリムとの関係性に注目して	峯岸優太	202310	宗教社会学の会	—

指導教員	川端 亮	講座/研究分野	経験社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	藤野 敦子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ジェンダーギャップを解消する視点—なぜ「産後パパ育休」は重要か?—	藤野 敦子	202311	日本ジェンダー研究 26,41-46	—
学術論文	「父親が育児に関与する要因」の歴史からの検討：江戸時代から明治時代において	藤野 敦子	202403	京都産業大学・総合学術研究所所報 18	—
学会・研究会等発表	父親が育児に関わる社会文化的要因：歴史的視角からの検討	藤野 敦子	202307	日本フェミニスト経済学会 2023 年度大会	—
学会・研究会等発表	「転勤」を伴う働き方が出生意欲に及ぼす影響：若年正規雇用者のジェンダー比較分析から	藤野 敦子	202309	第 33 回 日本家族社会学学会大会	—
その他	講演「ジェンダーとは何か」	藤野 敦子	202305	滋賀県男女共同参画センタージェンダー平等ミーティング	—
その他	講演「未来を切り開く『ジェンダー』の話」	藤野 敦子	202307	敦賀市男女共同参画推進員研修会	—
その他	講演「未来を切り開く『ジェンダー』の話」	藤野 敦子	202310	草津市人権同和問題 職員研修	—
その他	講演「理系をもっと身近に—ジェンダーバイアスに縛られない進路選択—」	藤野 敦子	202312	滋賀県立大学次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」	—
その他	講演「ジェンダー課題を解決する鍵：アンコンシャスバイアスとは」	藤野 敦子	202402	滋賀短期大学人権研修会	—
その他	「ワーク・ライフ・バランスと男性」	藤野 敦子	202302	ジェンダー事典（丸善出版）ジェンダー事典編集委員会編 「ワーク・ライフ・バランスと男性」を執筆 252-253	—

指導教員	CROYDON Silvia	講座/研究分野	現代社会と社会理論
------	----------------	---------	-----------

学生氏名	AICHHOLZER STEFAN	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Between Privilege and Disadvantage: Western Middling Migrants' Outsider Treatment in Japanese Companies	Stefan Aichholzer	202403	年報人間科学 45,65-80	○
学会・研究会等発表	Partner Preference in Inter marriage in Japan: Insights from a Conjoint Survey Experiment	Stefan Aichholzer	202403	第 76 回数理社会学学会大会 (JAMS76)	—
その他	Why are Japanese Hesitant to Marry Foreigners? Explaining the low International Marriage Rate in Japan	Stefan Aichholzer	202307	19th EAJS PhD-Workshop at KU Leuven, Belgium	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	特別研究員奨励費	Stefan Aichholzer	202304	独立行政法人日本学術振興会

指導教員	吉川 徹	講座/研究分野	経験社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	LIU SILIANG	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	育児休業が女性の家庭生活に及ぼす影響	劉思良	202403	第76回数理社会学大会	—

指導教員	五十嵐 彰	講座/研究分野	経験社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	YEUNG Wai Keung Jerf	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	A Multi-System Approach to Investigate Different Forms of Delinquency in Female Adolescents at Risk: Family, School, and Peers	Yeung, Jerf W. K.	202312	Behavioral Sciences DOI: 10.3390/bs13120960 13,12,960	○
学会・研究会等発表	Investigating and Comparing the Effects of Family, School, and Peer Systems on At-Risk Female Adolescents' Delinquency: Types and Paths	Yeung, Jerf W. K.	202401	10th International Conference on Humanity and Social Sciences (ICHSS 2024)	○

指導教員	辻 大介	講座/研究分野	コミュニケーション社会学
------	------	---------	--------------

学生氏名	岡田 玖美子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「人格的ケア関係」としての夫婦における親密性と平等性——「フェミニズム正義論」を手がかりとして——	岡田 玖美子	未確定	女性学 31,88-105 日本女性学会	○
学会・研究会等発表	若者の恋愛関係における感情作業のプロセス——半構造化インタビューによるペア・データの分析から	岡田 玖美子	202305	第74回関西社会学大会	—
学会・研究会等発表	夫婦関係における対等性と親密性の再定位——フェミニズム正義論に着目して	岡田 玖美子	202306	2023年度日本女性学会大会	—
学会・研究会等発表	夫婦カウンセリングの現場からみる「話し合えない」夫婦たちの悩みとその関係調整——〈感情作業〉に着目して	岡田 玖美子	202309	日本家族社会学会第33回大会	—

指導教員	森田 邦久	講座/研究分野	科学哲学・分析哲学
------	-------	---------	-----------

学生氏名	KANG KIWON	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	What is Trust in Science?	KANG KIWON	202312	大学院教育改革フォーラム2023	—
学会・研究会等発表	なぜ日本ではHPVワクチン接種が進まないのか？	KANG KIWON	202312	科学技術社会論学会第22回研究大会	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	最優秀賞 (SciRex サマーキャンプ2023 政策立案)	KANG KIWON	202309	政策研究大学院大学
受賞	優秀賞 (大学院教育改革フォーラム2023 ポスター発表)	KANG KIWON	202312	筑波大学

学生氏名	中塚 海渡	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Bell 定理を基にした確率過程量子化の考察	中塚海渡	202308	第一回量子力学の哲学研究会	—
学会・研究会等発表	確率過程量子化の統一的解釈と実在性の考察	中塚海渡	202310	科学基礎論夏のセミナー2023	—

学会・研究会等発表	確率過程量子化における実在性の考察	中塚海渡	202312	日本科学哲学会第56回(2023年度)大会	—
-----------	-------------------	------	--------	-----------------------	---

学生氏名	岸 哲生	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Timothy Williamson, Knowledge and its Limits, Oxford University Press, 2000	岸 哲生	202303	年報人間科学 45,113-116	—

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	哲学と質的研究
------	-------	---------	---------

学生氏名	野口 忍	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	訪問看護師による訪問看護利用者へのアドバンス・ケア・プランニングへの啓発と死亡場所の希望の実現率	野口 忍	202401	ホスピスケアと在宅ケア 88,31,263-266	○

学生氏名	古怒田 望人	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	後期レヴィナスの倫理におけるクシアな人々への喪とその生存可能性の観点:バトラーとフロイトの喪の理論を介して	古怒田望人	202310	現象学と社会科学 9,91-106	○
専門書	フェミニスト現象学:経験が響き合う場所へ	古怒田望人・稲原美苗他	202308	ナカニシヤ出版 第七章「セクシュアリティの「ままならなさ」	

学生氏名	徳光 薫	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ある大人の発達障害当事者がセルフヘルプグループを支援すること—発達障害当事者ならではの活動とその意味	徳光 薫	202403	質的心理学研究 23	○
学術論文	大人の発達障害の自助グループにおける新たな「安定運営」	徳光 薫	202403	年報人間科学 45,31-46	○

学生氏名	井上 瞳	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	性暴力をめぐるフェミニズムと精神医療の往還—1960年代以降の英語圏のフェミニストによる「被害者-サバイバー言説」の展開に注目して	井上瞳	202304	女性学 30,73-91	○
学会・研究会等発表	私たちは沈黙を聴くことができるか—レヴィナスの政治哲学に寄せて	井上瞳	202307	松葉類『飢えた者たちのデモクラシー:レヴィナス政治哲学のために』合評会レヴィナス協会	—
学会・研究会等発表	Reconsidering Silence: The Everyday Lives of Sexual Violence Trauma Survivors and the Potential for Reconciliation	Hitomi INOUE	202307	Seminar for the Development of International Reconciliation Studies [IARS], as a Part of International Leading Semina	—
学会・研究会等発表	専門家と当事者の関係性を問い直す—性暴力に関する医療人類学的研究の可能性	井上瞳	202306	日本女性学会 2023年大会	—
学会・研究会等発表	性暴力被害の「その後の世界」を生きる—当事者の生活をめぐる医療人類学と現象学の領域横断的な試み	井上瞳	202306	日本文化人類学会 第57回研究大会	—
大学・研究所等の報告	フェミニスト現象学の方法論をめぐる二つの問い—現象学的な質的研究の観点から	井上瞳	202401	『フェミニスト現象学』出版記念ワークショップ:方法論編 立命館大学間文化現象学研究センター・立命館大学人文科学研究所	—

学生氏名	三木 伸吾	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	学校体育における呈示媒体と動感発生の関係	三木 伸吾	202311	「伝承」運動伝承研究会発行 23,31-48	○
学会・研究会等発表	運動学習支援ツールの開発と運用から見えてきた課題	三木 伸吾	202306	第22回運動伝承研究会	—

学生氏名	和田 薫	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	保健室の先生が見ている思春期の性教育の在り方	和田 薫	202308	発表のみ	臨床実践の現象学会第7回大会	○			

学生氏名	生駒 妙香	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	臨床助産師による特定妊婦との関わりの実践の現象学的研究—母子とその周りもみる—	生駒妙香	202308	日本助産学会誌	37,2,114-125	○			
学術論文	身体から心に届けるケア—特定妊婦への助産師の実践の現象学的記述—	生駒妙香	202403	日本母性看護学会誌		○			
学術論文	A 大学看護学課程教育の評価—卒業時到達目標およびディプロマ・ポリシー到達度の経年評価より—	清水昌美、中尾友美、合田友美、石井あゆみ、寺本久美子、生駒妙香、後藤小夜子、藤田俱子	202402	千里金蘭大学紀要	20	○			
学会・研究会等発表	養育支援訪問事業における助産師による特定妊婦との関わりの実践の現象学的記述—亡くなった命を忘れない—	生駒妙香	202310	第37回日本助産学会学術集会		—			
学会・研究会等発表	A 大学看護学生の卒業時到達目標到達度の経年変化	清水昌美、中尾友美、合田友美、石井あゆみ、寺本久美子、生駒妙香、後藤小夜子、藤田俱子	202312	第43回日本看護科学学会学術集会		—			

学生氏名	眞田 航	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	純粋経験の有限性について—『善の研究』までの西田幾多郎の思想的変遷から	眞田航	202308	求真	28,175-198 7th Annual Conference of the European Network of Japanese Philosophy	○			
学会・研究会等発表	Nishida Kitarō's Philosophy of "Forms" and Its Relation to Reconciliation Studies	SANADA Wataru	202307	Seminar for the Development of International Reconciliation Studies, as a Part of International Leading Seminar		—			
学会・研究会等発表	西田哲学とポストモダン—他者の問題をめぐって	眞田航	202401	京都学派およびポスト京都学派と科学哲学・技術哲学の現在		—			
国際会議 (proc なし)	Absolute Free Will and Art in Nishida Kitarō's Intuition and Reflection in Self-awareness	SANADA Wataru	202309	7th Annual Conference of the European Network of Japanese Philosophy		○			

学生氏名	永井 智子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	自治体保健師のための地区活動に関する評価尺度の開発：地区活動の内容、保健師の認識、組織環境に着目して	永井智子,米倉佑貴,梅田麻希,麻原きよみ,川崎千恵,小林真朝,嶋津多恵子,遠藤直子,大森純子,三森寧子,江川優子,永田智子,佐伯和子,佐川きよみ,小西美香子	202311	日本公衆衛生雑誌	70,11,759-774	○			
学術論文	“死別を支える地域コミュニティ”形成に向けた教育プログラムの実践報告	小野若菜子,永井智子	202306	日本看護科学学会誌	43,11-17	○			
学術論文	保健師課程の学生を対象に実施した放射線に関する授業の実践と評価	永井智子,佐々木綾花	202403	目白大学健康科学研究 (掲載予定)	17	○			
学会・研究会等発表	大学生のアントレプレナーシップを育成するための経験の場を作る 目白大学地域連携事業ジェンダー平等に関する活動	藤田 佳代子,永井 智子,小泉 仁子,原 克彦	202311	第7回日本国際看護学会学術集会		—			
学会・研究会等発表	保健師課程の学生を対象に実施した放射線に関する授業内容とその評価	永井智子,佐々木綾花	202401	第12回日本公衆衛生看護学会		—			
学会・研究会等発表	養護教諭・保健師コースで放射線を教える、学ぶ： 専門家からのバトンタッチ	永井智子,三森寧子,川崎千恵,小西恵美子,菊地透	202309	第12回日本放射線看護学会 (交流集会)		—			
学会・研究会等発表	「死別を支える地域コミュニティ」の形成：地域におけるグリーフケア活動を通して	小野若菜子,中村めぐみ,永井智子,高本眞左子,市川美奈子	202311	第13回日本在宅看護学会学術集会 (交流集会)		—			

学会・研究会等発表	集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる 教育実践のあれこれ ～ラダーI 教員と考える学生とともに育ちあう教育～	一色 喜保, 渡邊 千秋, 田村 晴香, 神戸 玲, 武井 勇介, 窪田 志徳, 戸渡 洋子, 斎藤 瑛梨, 中島 富志子, 永井 智子, 山崎 真帆, 榎本 晃子, 川口 恭子, 鈴木 純子	202401	第12回日本公衆衛生看護学会学術集会(ワークショップ)	-
解説・総説	看護学士課程におけるセクシュアリティ教育の現状と課題ー母性看護学概論の教科書の項目調査を通してー	藤田 佳代子, 永井 智子, 小泉 仁子	202403	目白大学健康科学研究(掲載予定) 17	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	2023年度 看護実践科学研究助成基金	永井智子	202303	一般社団法人聖路加看護学会
助成金	2024年度 公衆衛生看護研究助成	永井智子	202401	日本公衆衛生看護学会

学生氏名	大野 美子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	精神保健医療福祉における自律性：関係的自律論から「自己決定」を再考する	大野 美子	202310	第42回日本医学哲学・倫理学会	○
学会・研究会等発表	ケアの倫理から考える精神障害者家族	大野 美子	202312	第35回日本生命倫理学会	○
国際会議(procなし)	The Lived experiences of Japanese families of people with schizophrenia : from the perspectives of ambiguous loss and ethics of care	Yoshiko OHNO	202308	40th International Human Science Research Conference	○

学生氏名	田中 佑樹	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ガタリのサルトル主義	田中佑樹	202403		○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	今日の思想状況としてのポスト・トゥルース研究とその批判的応答	池田信虎, 眞田航, 香川祐葵, 中村瑞樹, 松岡玄, 客本敦成, 田中佑樹	202310	大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト 共同研究活動

学生氏名	辻 明典	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Phenomenological Descriptions of Communication with Disabled Children (Symposium title: The significance of phenomenological descriptions of individual experiences for caring)	Tetsuya Kono, Yumi Nishimura, Ryota Kitao, Hiromi Owada, Akinori Tsuji	202308	40th International Human Science Research Conference	-

学生氏名	西村 友梨	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ヘーゲルとヴァレリー、力能を超えたものへの接続の仕方	西村友梨	202312	日本ヘーゲル学会第3回フロンティア研究部会	-

指導教員	野尻 英一	講座/研究分野	比較文明学
------	-------	---------	-------

学生氏名	DOLINSEK SASO	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	The All-Encompassing Inclusivity of Exclusion: Kaneko Fumiko's Universalist Tendency	DOLINŠEK, Sašo	202312	Japan Review 38,173-196	○
学会・研究会等発表	The authenticity of desire: on how Kaneko Fumiko transcended the egoist philosophy of Max Stirner	DOLINŠEK, Sašo	202308	17th International Conference of the European Association for Japanese Studies (EAJS)	-

学生氏名	客本 敦成	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	文化研究のためのヘーゲル-フレドリック・ジェイムソンによる『精神現象学』解釈の紹介と評価	客本敦成	202303	日本ヘーゲル学会フロンティア研究部会	○				
学会・研究会等発表	ユートピア衝動の表象としての戦闘美少女ファリック・ガール概念の理論的考察	客本敦成	202309	カルチュラル・タイフーン	○				
学会・研究会等発表	批評家としての分析家——初期ジェイムソンにおける精神分析受容	客本敦成	202311	表象文化論学会オンラインフォーラム	○				
学会・研究会等発表	芸術論における「ヘーゲルのアプローチ」の内容とその意義 ——ロバート・ピピンの芸術論とそのヘーゲル解釈——	客本敦成	202312	日本ヘーゲル学会フロンティア研究部会	○				
学会・研究会等発表	Historicizing Otaku Subjectivity A Critical Analysis of the Desire for the "Phallic Girl"	Kyakumoto Atsunari	202401	Sixth Annual Osaka Graduate Conference in Japanese Studies	○				
大学・研究所等の報告	〈陰謀的思考〉の無意識 フレドリック・ジェイムソンの映画批評から考える	客本敦成	202312	ポスト・トゥルース研究会	—				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	今日の思想状況としてのポスト・トゥルース研究とその批判的応答	池田信虎, 眞田航, 香川祐葵, 中村瑞樹, 松岡玄, 客本敦成, 田中佑樹	202310	大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト

学生氏名	藤井 康子	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	ジョセフ・ワイスの制御-克服理論——精神分析を用いた文芸評論に与えるインパクト——	藤井康子	202403	会議報告(口頭発表) 〈身〉の医療研究会 第9回研究交流会	—				
その他	ジョセフ・ワイスの制御-克服理論	藤井康子	202309	会議報告(口頭発表) 2023年日本プロセスワークセンター修了式	—				

指導教員	白川 千尋	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	吉田 佳右	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「家」で暮らす高齢者と専門家とのかかわりあい—ホームホスピスにおける「持てる力」の探究—	吉田 佳右	202311	2023年度みんぱく若手研究者奨励セミナー	○				

学生氏名	森本 早紀	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	看護師の医療機器をめぐる聴覚に関わる実践の人類学的研究	森本早紀	202403	年報人間科学 45,1-16	○				
学会・研究会等発表	看護師の聴覚をめぐる実践についての人類学的研究	森本早紀	202303	日本文化人類学会近畿地区研究懇談会 2022年度修士・博士論文発表会	—				
学会・研究会等発表	朝鮮学校における「保健室」に関する研究—設置・運営過程のコンフリクトに着目して—	山脇佳・森本早紀	202306	異文化間教育学会第44回大会	—				

学生氏名	三橋 涼子	学年	MC2
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	三橋涼子	202307	大阪大学人間科学研究科・教育改革推進室

2-2-3. 教育学系

教育学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	111 名	95 名	85.6 %	32 名	28.8 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	岡部 美香	講座/研究分野	教育人間学
------	-------	---------	-------

学生氏名	有村 龍也	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	不確かな未来を生き続けるためのキャリア教育の可能性と課題-「コスモポリタンキャンパス 2023 with EXPO」関係者へのインタビュー調査を通して-	有村 龍也	202403	『大坂大学教育学年報』 29,3-13	-

指導教員	藤川 信夫	講座/研究分野	人間変容論
------	-------	---------	-------

学生氏名	片桐 由美子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	自分であるとはどういうことか?	片桐由美子	202403	『実践につながる道徳教育論』 監修者：藤川信夫 編者：國崎大恩、キム・マワー 第9章を執筆 115(2/25 時点)-125(2/25 時点)	-

指導教員	西森 年寿	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	喜田 雅彦	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc あり)	Evaluation of Website Information for Splenectomy Patients in Japan	Masahiko Kita	202403	27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024) Conference	○

学生氏名	根岸 千悠	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	プレ FD 再検証：研究大学の教育系センターにおける運営上の課題と試行錯誤	近田政博・加藤真紀・栗田佳代子・佐藤浩章・根岸千悠	202306	大学教育学会第 45 回大会 (ラウンドテーブル)	-
学会・研究会等発表	大学院生を対象とした教授能力開発に関するアンケート調査	根岸千悠・岡田有司・渡邊文枝・金賢眞・村上正行	202306	大学教育学会第 45 回大会	-
学会・研究会等発表	第 27 号 (2018) 実践研究論文「大学教員を目指す大学院生を対象とした相互授業観察プログラムの試行と評価」	根岸千悠	202306	日本教師教育学会第 4 回論文作成支援セミナー	-
学会・研究会等発表	大学院生のプレ FD に対するニーズと教育能力の自己認識	根岸千悠	202402	大阪大学 FFP10 周年記念シンポジウム「新しい時代の博士人材をどう育成するか? : プレ FD を中心に」	-
学会・研究会等発表	プレ FD 参加者と非参加者の教育能力に対する自己認識	根岸千悠・岡田有司・渡邊文枝・金賢眞・浦田悠・村上正行	202303	日本教育工学会 2024 年春季全国大会	-
学会・研究会等発表	機械学習を用いた授業評価アンケートの自由記述の自動分類システムの開発とその活用	松河秀哉・根岸千悠・村上正行	202303	日本教育工学会 2024 年春季全国大会	-
その他	教育指導力向上のための応用問題と解説	根岸千悠	202312	『看護教員のための問題と解説で学ぶ教育指導力トレーニング』 佐藤浩章 監修・大串晃弘編 第 III 部 などを執筆 60-84	-

学生氏名	尾野 剛章	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	英単語学習方略とテスト形式の関係についての調査	尾野剛章・後藤崇志	202309	日本教育工学会秋季全国大会 (第 43 回大会)	-

指導教員	後藤 崇志	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	中嶋 梓	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	医療系専門学校生の課題価値とエンゲージメントの関連	中嶋梓・後藤崇志	202403	日本教育工学会 2024 年春季全国大会	—

指導教員	野坂 祐子	講座/研究分野	教育心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	小形 美妃	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童自立支援施設併設校勤務による教員の指導およびかかわり方の変化についての一考察	小形美妃・野坂祐子	202403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 50,未定・未定	—
学会・研究会等発表	児童自立支援施設勤務による教師の心理面・指導面での変化のプロセスについて—入所児童とのかかわりに着目して—	小形美妃	202308	第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会	—
その他	性非行と性被害—SNS での被害	小形美妃	202307	『子どもへの性暴力 [第 2 版] その理解と支援』藤森和美・野坂祐子 (編) コラム 5 を執筆 78-79	—

学生氏名	高田 紗英子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童養護施設におけるトラウマインフォームドケアの実践—入所児童へのアセスメントに着目して—	高田紗英子	202306	カウンセリング研究 56,13-24	○
大学・研究所等の報告	トラウマインフォームドな組織作りを促進するためのトレーニングに関する文献レビュー—児童福祉機関に焦点を当てて	高田紗英子・野坂祐子	202303	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 48,35-52	—
専門書	子どもへの性暴力 第 2 版	藤森和美、野坂祐子、高田紗英子 他	202307	誠信書房 コラム 9	
専門書	非行少年に対するトラウマインフォームドケア 修復的司法の理論と実践	野坂祐子、高田紗英子 他	202311	明石書店 前書き・序章・謝辞・第 8 章・第 9 章	

学生氏名	小川 恵美子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	困窮者支援従事者のトラウマ理解と共感満足・共感疲労	小川恵美子	202309	コミュニティ心理学研究 27,1,33-52	○
学会・研究会等発表	日本語版 TIC 尺度の研究 (1)—ARTIC-35 の信頼性・妥当性の検討	小川恵美子	202308	第 22 回日本トラウマティック・ストレス学会	—
学会・研究会等発表	トラウマインフォームドケア (TIC) と修復的正義 (RJ) にもとづく多分野での実践可能性の検討	野坂祐子・小川恵美子・松澤佳子・三垣明子	202311	第 29 回日本子ども虐待防止学会 公募シンポジウム	—
その他	対人援助職者を対象としたストレスおよびトラウマに関連する心理教育的介入の文献レビュー	小川恵美子・野坂祐子	202401	大阪大学人間科学研究科紀要 50,213-231	—
その他	支援者へのトラウマの影響 2023 年 誠信書房	藤森和美・野坂祐子・島ゆみ・浅野恭子・小西聖子・亀岡智美・松浦正一・土岐祥子・笠原麻央・小川恵美子他	202307	『子どもへの性暴力 [第 2 版]』藤森和美・野坂祐子編 第 5 章を執筆 80-94	—
その他	個別的トラウマを理解する、トラウマインフォームドな予防 2023 年 明石書店	ジュダ・オウドション著、野坂祐子監訳	202311	『非行少年に対するトラウマインフォームドケア—修復的司法の理論と実践』ジュダ・オウドション著、野坂祐子監訳 第 3 章、第 8 章翻訳担当 103-139	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 5 年度科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費 202311775) 「福祉職を対象としたトラウマインフォームドケア研修と尺度開発に関する実証研究」	小川恵美子	202304	日本学術振興会

学生氏名	吉村 拓美	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ラップアラウンドは当事者とともに家族支援ネットワークを構築する：ケアコーディネーター養成研修及び対話会で得られた学びから	吉村拓美・久保樹里	202308	子どもの虐待とネグレクト 25,2,202-212	○				
大学・研究所等の報告	児童福祉司の育成システム再構築に向けた文献レビュー—トラウマインフォームドな育成モデルに焦点を当てて	吉村拓美・野坂祐子	202403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 50,149-165	—				
その他	コラム2「理解と支援に役立つトラウマインフォームドケア」	吉村拓美	202307	『子どもへの性暴力—その理解と支援—第二版』藤森和美・野坂祐子編 コラム2を執筆 26-27	—				
その他	いま「児童心理司になる」ために何があるとよいのでしょうか	吉村拓美	202303	全国児童心理司会報 2-9 全国児童心理司会	—				

学生氏名	安藤 麻紀	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	新しい時代におけるスクールカウンセラーの業務と課題：第41回大会 大会委員会企画シンポジウム(学校臨床心理士ワーキンググループ共催)	安藤 麻紀・吉村 隆之・福島 美由紀・小林雅彦・福田 憲明・高田晃・冨永 良喜	202308	心理臨床学研究 41,3,275-290	○				
学会・研究会等発表	「自主シンポジウム 088 刑務所の中と外をつなぐ」	工藤晋平・野口千里・中川嘉子・飯岡慈生・安藤麻紀	202310	第42回日本心理臨床学会大会 於 We b大会	—				

学生氏名	宮野原 勇斗	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	セルフ・コンパッションが教員のバーンアウトに及ぼす影響の検討—教師ストレスと教師効力感を媒介変数として—	宮野原勇斗	202309	日本心理学会第87回大会	—				

指導教員	老松 克博	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	崎田 純	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	大阪大学大学院人間科学研究科 心理教育相談室紀要第29号	崎田純	202402	小説の執筆を通じて思いを整理する女性との面接過程 29,24-34	—				

指導教員	佐々木 淳	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	栗山 七重	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	日本語版感情ピネットの作成と学生サンプルにおける妥当性の検討	田島勇二・栗山七重・志水佑后・佐々木淳	202308	心理学研究 94,3,230-239	—				
学会・研究会等発表	Relationships between coping resource loss, sense of coherence, and mental health: A cluster analysis of a Japanese university student sample	Nane Kuriyama ・ Jun Sasaki	202306	10th World Congress of Cognitive Behavioral Therapies	—				
学会・研究会等発表	クライアントはどのような心理療法を好むか？—日本語版 C-NIP の因子構造および信頼性・妥当性の検討—	鈴木孝・栗山七重・佐々木淳	202309	日本心理学会第87回大会	—				

学生氏名	藪田 拓哉	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	アニメの良さや強みに関する視聴者の主観的認識の把握：自由記述データの分析による探索的検討	藪田拓哉・佐々木淳	202403	アニメーション研究 24,1	○				
学術論文	アニメを活用した心理的サポート—アニメーション療法の可能性—	藪田拓哉・佐々木淳	202403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 50	—				

学会・研究会等発表	「『アニメ』を享受することーその心理学的検討ー」	藪田拓哉	202403	日本アニメーション学会心理研究部会研究発表会、パネル・ディスカッション	—
-----------	--------------------------	------	--------	-------------------------------------	---

学生氏名	西村 暁音	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「音大生肯定的・否定的自己陳述尺度作成の試み」	西村暁音 佐々木淳	202311	認知療法研究 17,1	○
学会・研究会等発表	「音大生の本番演奏前後の心理的過程に関する質的検討」	西村暁音	202305	第41回日本学生相談学会	—

学生氏名	生田 あやめ	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	The effect sense of Interoception on Depression and Anxiety	Ayame Ikuta, Jun Sasaki	202306	10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies 2023	—

学生氏名	丸井 理会	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	大学生の自己表現における演技の有無と恥の感覚および表現体験との関係	丸井理会	202309	日本心理学会第87回大会発表論文集 日本心理学会	—

指導教員	管生 聖子	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	佐々木 由佳	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	家族の痛みに悩み、自身の痛みに向き合えない女性との面接過程	佐々木 由佳	202403	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 29,-,35-45	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2022年度(後期) 公募助成事業 助成金	佐々木 由佳	202304	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

指導教員	木村 涼子	講座/研究分野	教育社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	近藤 凜太郎	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	C. T. モハンティの個人史: 「第三世界」フェミニズムからグローバル資本主義批判へ(研究ノート)	近藤凜太郎	202403	『大阪大学教育学年報』 29	—
学会・研究会等発表	国際協力 NGO の広報におけるジェンダー化された「第三世界」像	近藤凜太郎	202308	日本教育学会	—

学生氏名	BAEK HYUNGJOO	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Role Models and Sexual Minority's Well-Being	BAEK HYUNGJOO TAKASHINNO NINA MINAKSHI KEENI	202307	Gender & Women's Studies	—

指導教員	荒牧 草平	講座/研究分野	教育社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	田邊 和彦	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	なぜ女子中学生は自分を「理系」と評価しにくいのかー文理意識の性別間分化メカニズムー	田邊 和彦	202306	教育学研究 90,2,39-51	○

学術論文	「理系」と認識されやすいのはどのような子どもか—母親の抱く文化的信念に焦点を当てて—	田邊 和彦	202401	科学教育研究 47,4,497-508	○
------	--	-------	--------	---------------------	---

学生氏名	松尾 大地	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	非大卒親家庭の世代間上昇移動と拡大家族—キョウダイからオジオバへ—	松尾大地	202403	大阪大学教育学年報 29,15-28	—

指導教員	園山 大祐	講座/研究分野	教育制度学
------	-------	---------	-------

学生氏名	中丸 和	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	原発事故被災地における学校を核とした地域コミュニティの再生とはいかなるものか—学校再編の検討過程で表出する学校と地域の関係性の捉えられ方に着目して—	中丸和	202307	日本災害復興学会論文集 22,35-44	○
学会・研究会等発表	被災地における教員人事行政に関する研究—東日本大震災以後の福島県相双地域の教員配置実績に着目して—	中丸和	202308	日本教育学会第 82 回大会	—
教科書	未来をひらく子ども学 子どもを取り巻く研究・環境・社会	坂越正樹ほか	202304	福村出版 第 13 章	
専門書	SDGs 時代にみる教育の普遍化と格差—各国の事例と国際比較から読み解く	澤村信英ほか	202306	明石書店 17 章	

学生氏名	山崎 洋介	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「公立小中学校の長時間過密労働と教員定数算定に関する考察—義務標準法『乗ずる数』に着目して」	山崎洋介	202309	『日本教師教育学会年報』 32 号,135-147	—
学術論文	「地方分権改革による自治体「ローカル・オプティマム」の検証—鳥取県における義務教育条件整備行政の分析から—	山崎洋介	202311	日本教育制度学会創立 30 周年記念『日本教育制度学会紀要』特別号 349-366	○
学術論文	「公立小中学校における教育不足・未配置の構造的仕組みと解決策に関する考察—高知県教育行政を事例として—	山崎洋介	202311	『教育制度学研究』第 30 号,40-52	—
学術論文	「公立小中学校非正規教職員に関する考察—法制度的類型と量的動向—	山崎洋介	202311	『教育学研究』90 巻,3 号,175-178	○
学会・研究会等発表	「自治体独自少人数学級制の財政的実施方法に関する研究—教員定数と教員給与費財政に着目して—	山崎洋介	202308	日本教育学会大会自由研究発表	—
学会・研究会等発表	「地方分権改革における総額裁量制の運用実態—自治体に付与された『減らす自由』の限界」	山崎洋介	202310	日本教育行政学会大会自由研究発表	—
その他	「いま学校に必要なのは人と予算〈2023 年度予算案分析〉」	山崎洋介	202305	『子どもと教科書全国ネット 21NEWS』125 号,8-9	—
その他	「『せんせいをふやそう』どうやって?」	山崎洋介	202305	『季刊働くもののいのちと健康』95 号,22-23	—
その他	「教員の不足はなぜ起こっているのか?—高知県の事例研究から—	山崎洋介	202306	『人権と部落問題』973 号,60-68	—
その他	「教員の長時間過密労働解消をめざす運動論の考察—給特法廃止論への疑問—	山崎洋介	202309	『交流研通信』119 号,9-16	—
その他	「教員定数算定制度の再構築—『乗ずる数』を知っていますか」	山崎洋介	202310	『教育』934 号,38-45	—
その他	「新たな段階に入った教員未配置問題—公教育の構造的危機」	山崎洋介	202312	『季刊労働法』283 号,80-88	—
一般書	『教員不足クライシス—非正規教員のリアルからせまる教育の危機』第 4 章執筆	山崎洋介・杉浦孝雄・原北祥悟・教育科学研究会編	202305	旬報社 はじめに「教員不足・非正規化という教育危機を乗り越えるために」・第 4 章「非正規教員とは? どのように増えているのか?」執筆	

指導教員	北山 夕華	講座/研究分野	生涯教育学
------	-------	---------	-------

学生氏名	今井 貴代子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
解説・総説	「大阪をフィールドとした取組みからの日本語教育推進法の批判的検討」		今井貴代子	202309	日本国際教育学会『国際教育』 29,76-79 学会課題研究報告	-			
学会・研究会等発表	「多文化共生の取り組みにおける探究と他者—高校と地域連携の実践を事例に」		今井貴代子	202308	2023年8月27日 日本教育学会 第82回大会発表 (於東京都立大学) 課題研究II「探究のなかで他者と出会う」	-			
解説・総説	「第14章 キャリアにつなげる足場かけ—梓校で培われた文化的資源とネットワーク」		今井貴代子	202306	山本晃輔・榎井縁編『外国人生徒と共に歩む大阪の高校—学校文化の変容と卒業生のライフコース』明石書店(分担執筆) 244-251	-			
解説・総説	「第25章 学習と評価のための『インサイダー』レンズとしての自己評価」		今井貴代子	202308	監修:倉石一郎・佐藤貴宣・渋谷亮・濱元伸彦・伊藤駿、編著:ラニ・フロリアン『インクルーシブ教育ハンドブック』北大路書房(分担翻訳) 533-552	-			

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	「移民第世代の学校経験と仕事への移行—立ちはだかる在留資格の壁をめぐって」	今井貴代子	202310	公益財団法人松下幸之助記念志財団 研究助成(人文科学・社会科学領域(2023年10月~2024年9月))

学生氏名	DAO NGOC MY LINH	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	The school engagement of 1.5 generation Vietnamese children within the Japanese education environment: focusing on Tokkatsu activities participation		Dao Ngoc My Linh	202308	ゼンショー東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム(JSPH)第2回日越研究フォーラム	-			
学会・研究会等発表	学校での集団葛藤におけるベトナム移民の児童生徒とそれに影響を与える要因—日本公立学校におけるベトナム人第1.5世代の児童生徒の学校参加に関する研究を通して—		Dao Ngoc My Linh	202310	日本シティズンシップ教育フォーラム(J-CEF)	-			
一般書	ベトナム・日本間の人的移動		ベトナム国家大学ハノイ校	202310	世界出版社 7章「A QUALITATIVE STUDY OF SCHOOL ENGAGEMENT AMONG 1.5 GENERATION VIETNAMESE CHILDREN WITHIN THE JAPANESE EDUCATION ENVIRONMENT - Focusing on the role of tokkatsu activities on emotional engagement dimension -」	-			

指導教員	高田 一宏	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	宇田 智佳	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童養護施設で暮らす子どもたちの家族をめぐる〈語り〉—家族の再構築に向けた実践に着目して—		宇田智佳	202304	『家族社会学研究』 35,1,32-43	○			
学術論文	児童養護施設におけるトラブルの構築過程—「トラブルのマイクロポリティクス」に着目して—		宇田智佳	202306	子ども社会研究 29,161-181	○			
国際会議(procなし)	The Educational Practice for Pupils in Children's Homes in Japan: Focusing on Local Pedagogy		UDA Tomoka	202311	World Education Research Association	-			
その他	児童養護施設で暮らす子どもたちの〈仲間〉と〈友人〉—施設と学校でともに生きるということ		土屋敦、藤間公太、野崎祐人、三品拓人、宇田智佳、吉田耕平、平安名萌恵	202309	土屋敦、藤間公太編『社会的養護の社会学—家庭と施設の間にとたずむ子どもたち—』第4章を執筆 128-157	-			

その他	子どもと家族	坂越正樹、八島美菜子、小笠原文、伊藤駿、植田敦三、宇田智佳、大野呂浩志、小倉亜紗美、河村暁、高橋味央、時津啓、中丸和、二階堂年恵、野々村憲、山内優佳、山崎晃、山中翔、湯浅理枝	202304	『未来をひらく子ども学 子どもを取り巻く研究・環境・社会』坂越正樹、八島美菜子、小笠原文、伊藤駿編 第11章を執筆 158-167	—
-----	--------	---	--------	---	---

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金	宇田智佳	202310	大阪大学大学院

学生氏名	桑山 碧実		学年	DC1	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Special CRAG Symposium: Community Psychology Issues in Asian Contexts	Toshi Sasao, Dicky Pelupessy, Yusuke Okuyama, Junko Ouchi, Aomi Kuwayama, Shizuka Yanagii	202307	The 1st Global Community Psychology Seminar in Asia	—
学会・研究会等発表	コミュニティ心理学におけるアジア・日本の視点の再考—第1回アジア・国際コミュニティ心理学セミナーの経験から—	奥山裕介, 笹尾敏明, 板東充彦, 柳井静香, 桑山碧実	202312	日本コミュニティ心理学会 第26回大会	○
国際会議(procなし)	Challenging Community Psychology Post-Pandemic in Asia and Beyond	Toshi Sasao, Aomi Kuwayama, Junko Ouchi, Shizuka Yanagii, Yusuke Okuyama, Dicky Pelupessy	202306	Society for Community Research and Action Biennial Conference 2023	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	特別研究員奨励費	桑山碧実	202304	日本学術振興会

学生氏名	高野 結衣		学年	DC1	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	教師に共有された安全観と行動様式—ISS認証中学校の学校文化に着目して—	高野結衣	202310	日本セーフティプロモーション学会誌 16,2,7-19	○
学会・研究会等発表	生徒に安心感を与える教育実践と学校文化の関係	高野結衣	202309	日本安全教育学会第24回大会	—
大学・研究所等の報告	リスク管理型安全対策を克服する学校安全の取り組み—生徒に安心感を与える指導に着目して—	高野結衣	202306	教育文化学年報 18,30-39 所属研究室で発行している年次報告	—
大学・研究所等の報告	第12章 障害のある大学生の学校経験	高野結衣・宇田智佳	202307	「学校システムにおける排除と包摂に関する教育社会学的研究：マイノリティの視点から」最終報告書 第12章を執筆 207-227	—

学生氏名	古居 宗一郎		学年	MC1	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	つながりを活かした学校づくり—子どもの社会関係資本はどのように生まれ、生かされるのか	若槻健, 新谷龍太郎, 西徳宏水野聖良, 秋山みき, 西村尋, 王琳琛, 古居宗一郎	202309	第75回日本教育社会学会	—
大学・研究所等の報告	小学校におけるアウトリーチ—アウトリーチに至るまでの過程に着目して	高田一宏, 志水宏吉など	202403	教育文化学年報 19	—

学生氏名	鈴鹿 翔大		学年	MC1	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ニューカマーが集まるエスニック教会研究の課題	鈴鹿翔大	202304	教育文化学年報 18,158-167	—
書評	書評：フェリッペ・モッタ『移民が移民を考える—半田知雄と日系ブラジル社会の歴史叙述—』	鈴鹿翔大	(選択)	未来共創 11	—

2-2-4. 共生学系

共生学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	114 名	90 名	78.9 %	46 名	40.4 %	

指導教員	齊藤 弥生	講座/研究分野	共生の人間学
------	-------	---------	--------

学生氏名	チェリー アンジェラー未来	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	‘Migrant Care Workers in Japan amidst the Staff Shortage and the Covid-19 Pandemic: A Life-Course Perspective’	チェリーアンジェラー未来	202306	Transforming Care 2023	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	チェリーアンジェラー未来	202304	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	久保田 怜	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	高齢者の住まいの多様化と住み替えに関する研究—サービス付き高齢者向け住宅の入居者家族の語りより—	久保田怜	202403	『関西社会福祉研究』 10	○
学会・研究会等発表	高齢者介護におけるケアワークの変容—2012年と2022年の全国介護労働調査(NORDCARE 日本調査)より	久保田怜・石黒暢	202309	第31回日本介護福祉学会大会	—
学会・研究会等発表	スウェーデンにおける高齢期の住まいと居住—「安心住宅」に焦点を当てて	久保田怜	202311	2023年度北ヨーロッパ学会研究大会	—
学会・研究会等発表	ケア付き高齢者住宅の「ケア」とは何か—スウェーデンの安心住宅を事例として—	久保田怜	202403	関西社会福祉学会 2023年次大会	—
学会・研究会等発表	スウェーデンとフィンランドにおける高齢者介護の現状と動向	久保田怜	202302	高齢者施設における生活・介護の質と効率性の均衡関係に関する国際比較研究会	—
大学・研究所等の報告	Äldreomsorg i Japan -Where and How do older people want to spend their day?	Rei Kubota	202310	The Care Research Group, Stockholm University	—
大学・研究所等の報告	User Participation in Japan: How do We Contextualize the Concept within the Field of Social Work?	Rei Kubota	202401	Stockholm University	—
書評	Tine Rostgaard, John Parsons and Hanne Tuntland (eds.), Reablement in Long-Term Care for Older People: International Perspective and Future Directions, Bristol University Press, 2023年, 248頁, GBP 80.00.	久保田怜	202403	『未来共創』 11	—
国際会議(procなし)	Changing work situation among Japanese long term care workers: A comparison of NORDCARE data in 2012 and 2022	Nobu Ishiguro, Yayoi Saito, Momoko Sato, Tsukasa Yamaguchi, Rei Kubota	202306	Transforming Care Conference 2023	○
その他	海外の高齢者住宅 スウェーデンの多様化する高齢期の住まい 第1回スウェーデンにおける高齢期の住まいの変遷—サービスハウスからグループホーム、安心住宅まで—	久保田怜	202401	『エイジング・イン・プレイス』 164,25-30	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和5年度 学術研究助成基金助成金（特別研究員奨励費）	久保田 怜	202304	日本学術振興会

学生氏名	FRICKE JOSHUA	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ドイツのエルバーフェルト制度と日本の民生委員・児童委員制度の比較研究	フリッケ ヨシュア	202306	日本地域福祉学会第37回大会(長野大会)	—
学会・研究会等発表	ドイツにおけるインクルーシブな労働市場に向けた取り組み	フリッケ ヨシュア	202312	第35回近畿地域福祉学会(兵庫大会)	—

学生氏名	MUSTAKIM MALIKA	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Community Living for People with Disabilities in Japan: A Case Study of Sousou no Mori.	Mustakim Malika	202403	Journal of Kyosei Studies 143-154	-

学生氏名	段畑 実生	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	若者支援におけるユースセンターの可能性ー兵庫県尼崎市の取り組みを事例に	段畑実生	202403	共生学ジャーナル 8	-
学術論文	若者の多様な育ちを保障する仕組みに関する研究ーデンマークのエフタスコレ (efterskole) にみるレジリエンスを育む機能に着目してー	段畑実生	202306	社会政策学会修論フォーラム	-
学会・研究会等発表	デンマークにおける若者の育ちの保障ーエフタスコレ (efterskole) にみるリスクの予防の機能に着目して	段畑実生	202311	北ヨーロッパ学会 2023 年度研究大会	-
その他	デンマークにおけるエフタスコレとはー若者一人ひとりの育ちを支える場	村井誠人編著	202401	デンマークを知るための 70 章 353-357	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 5 年度若手研究者海外挑戦プログラム	段畑実生	202307	日本学術振興会

学生氏名	葉上 千紘	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	学齢期の子どもの社会参加を促す取り組みに関する研究：2022 年スウェーデン校内模擬選挙 (Skolval2022) にみる学校と地域の連携を事例として	葉上千紘	202306	日本地域福祉学会第 37 回大会 (長野大会) 2023 年 6 月 10 日~11 日	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト 令和 5 年度 海外短期研修支援事業	葉上千紘	202307	大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト

学生氏名	石岡 まどか	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	子どもの居場所のネットワークづくりにおけるコーディネーターの役割に関する研究ー大阪府豊中市の公民協働の取り組みに着目してー	石岡まどか	202306	日本地域福祉学会第 37 回大会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	スカンジナビア・ニッポン ササガワ財団「2023 年度助成事業」	石岡まどか	202303	スカンジナビア・ニッポン ササガワ財団

指導教員	近藤 和敬	講座/研究分野	共生の人間学
------	-------	---------	--------

学生氏名	磯島 浩貴	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「知性」を巡るジェイムズとベルクソンの割れ目：W. B. ビトキンによる批判とベルクソンの応答	磯島浩貴	202403	日仏哲学会 2024 年春季大会一般研究発表	○

学生氏名	佐々木 晃也	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	思考学者ドゥルーズにとっての「知ること」の問題	佐々木晃也	202310	フランス哲学・思想研究 28,201-212	○
学術論文	企業内哲学者はいかなる意味で哲学者であるのか？ー企業哲学実践の動向とその批判ー	佐々木晃也	202403	共生学ジャーナル 8,143-169	○

学会・研究会等発表	スピノザのうちでの変異の問題	佐々木晃也	202309	日仏哲学会 2023 年秋季大会 第 1 部会 ②	—
学会・研究会等発表	スピノザにおける「人間」の解釈史とその問題	佐々木晃也	202310	関西哲学会第 76 回大会 個人研究発表 3	—

学生氏名	辰己 一輝	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「批判的障害学と「社会モデル」」	辰己一輝	202309	障害学会第 20 回大会	—
学会・研究会等発表	障害学はどのような仕方でも包摂と排除を問題化してきたか——批判的障害学、クリップ理論などの現代的諸動向から問い直す	辰己一輝	202310	日本犯罪社会学会第 50 回大会	—
学会・研究会等発表	動いている世界とともにどのように考えるか：ドゥルーズの生成変化の哲学をもとに	楠見友輔, 辰己一輝, 得能想平, 石黒広昭	202311	日本質的心理学会第 20 回大会	—

学生氏名	池田 信虎	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ミシェル・フーコーにおけるパレーシアと民主主義の循環的成立について	池田信虎	202310	フランス哲学・思想研究 -28,-28,130-141 日仏哲学会	○
国際会議 (proc あり)	La pensée des années 1990 : fin de l'ère postmoderne et retour à la responsabilité?	Nobutora IKEDA	202312	15e colloque de la Société Française des Etudes Japonaises (SFEJ)	○

学生氏名	池端 祐一朗	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ロールズの政治的リベラリズムとマリオ・クオモの演説——ロールズはなぜカトリックの中絶問題に言及したのか	池端祐一朗	202403	共生学ジャーナル 7	○
学術論文	カトリックの教説と月経——タブー・中絶・避妊と月経	池端祐一朗	202403	未来共創 11	—
学会・研究会等発表	マリオ・クオモの演説とロールズのアイデア——「公共的理性のアイデア・再考」の参照指示からの検討	池端祐一朗	202306	京都生命倫理研究会 2023 年 6 月	—

学生氏名	香川 祐葵	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	真理が語れない時代に再考する物語の役割——日本におけるポストモダン思想の観点から	香川祐葵	202403	共生学ジャーナル 8,21-45	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大阪大学学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	香川祐葵	202304	大阪大学
助成金	大阪大学学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト 共同研究活動	池田信虎, 客本敦成, 田中佑樹, 眞田航, 香川祐葵, 松岡玄, 中村瑞樹	202310	大阪大学

学生氏名	LIN GONGYU	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	至高性の語りとしての文学——バタイユのカフカ論を読み解いて	林宮玉	202309	フランス哲学・思想研究 28,316-327 日仏哲学会	○

学生氏名	三宅 萌	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	肉の可逆性はいかにして可能か?——「スタイル」論を手がかりに	三宅萌	202310	フランス哲学・思想研究 28,282-293	○
学術論文	「匂い」をめぐる学際的研究：人文学、自然科学、アート・香文化、産業の観点から	三宅萌、阪本晴香、塩田裕之	202303	未来共創 10,337-357	—
学会・研究会等発表	理論をめぐる現代的状況：DGS2023 と ENS での経験から	三宅萌	202312	理論と実践の往還を考える：芸術学分野における美学理論の応用に着目して	—

学会・研究会 等発表	Vorhabe in the philosophy of Merleau-Ponty	Moe MIYAKE	202305	ダーモット・モラン教授講演会（日本哲学会・日本哲学系諸学会連合（JFPS）主催・科研費「レヴィナスの性差・家族の現象学」立教SFR共同研究プロジェクト「アートパフォーマンスの間身体性現象学」共催）	—
国際会議 (procあり)	En quête de la « nature » comme production Réflexions sur un colloque Merleau-Ponty/Levinas	Moe MIYAKE	202310	Levinas et Merleau-Ponty. Le corps et le monde, Corine Pelluchon, Yotetsu Tonaki, SYNTHÈSE DU COLLOQUE PAR LES ÉTUDIANTS を担当 670,285-288 Colloque de Cerisy	—

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和5年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	三宅萌	202304	日本学術振興会
助成金	令和5年度自主実践活動助成金	三宅萌	202304	大阪大学

学生氏名	高柳 瞭太	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (procなし)	Encounters and Diverges between the West and the East: Reading Izutsu After Derrida	Ryota TAKAYANAGI	202309	7th European Network of Japanese Philosophy	○	

学生氏名	瀧口 隆	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	ドゥルーズ『シネマ』における視覚的イメージの読解について	瀧口隆	202307	2023年度 哲学若手研究者フォーラム	—	
書評	書評 Between Deleuze and Foucault	瀧口隆	202403	共生学ジャーナル 8	—	
その他	文献紹介 『思考する芸術 非美学への手引き』	瀧口隆	202311	水声社ブックフェア アランバディウとは誰か 13-13	—	

学生氏名	中谷 碩岐	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	前期デリダの現象学受容におけるフーコーの位置付け —— 『言葉と物』と『グラマトロジー』におけるエビステマー概念に着目して	中谷碩岐	202310	フランス哲学・思想研究 28,246-257	○	
学術論文	現前への信と「吐き出されるもの」：「エコノミメシス」における「音声＝ロゴス中心主義」と信の問題	中谷碩岐	202403	哲学の門：大学院生研究論集 8,未定・未定	○	
学会・研究会 等発表	中期デリダのカント解釈における信の問題：「音声＝ロゴス中心主義」から「吐き出されるもの」へ	中谷碩岐	202307	社会芸術学会 2023年度大会	○	
学会・研究会 等発表	誰が共生学を担い得るのか：後期フッサールにおける学問共同体論の批判的再読を通じて	中谷碩岐	202310	共生学会 第2回大会 ラウンドテーブル「共生学はいかにして（不）可能か」	○	
学会・研究会 等発表	前期デリダのフッサール読解における正常性の問題：グラマトロジーという「畸形の学問論」の生成史	中谷碩岐	202310	日本現象学会 第45回研究大会	○	
大学・研究所 等の報告	ジャック・デリダにおける現象学と精神分析：「新たなる超越論的感性論」を巡って	中谷碩岐	202311	シンポジウム「思想と精神分析」	—	
大学・研究所 等の報告	表象不可能性と記録の命法：ランズマン『SHOAH』における証言のアポリアとその超克	中谷碩岐	202402	シンポジウム「出来事の記録と生の記憶 クロード・ランズマン『SHOAH』をみる」	—	
書評	Jacques Derrida, "Theory and Practice" translated by David Wills, Edited by Geoffrey Bennington and Peggy Kamuf, The University of Chicago Press, 2019, 127頁	中谷碩岐	202403	共生学ジャーナル 8,未定・未定	—	
国際会議 (procなし)	Hiroki Azuma Ontological, Postal and Studies on Derrida in Japan	中谷碩岐	202309	7th ENOJP (European Network of Japanese Philosophy) Conference	○	
その他	アラン・バディウ『推移的存在論』近藤和敬・松井久訳、水声社、2018年。	中谷碩岐	202311	水声社『コメット通信』での文献紹介 40,11-11	—	
その他	アラン・バディウ『アラン・バディウ、自らの哲学を語る』近藤和敬訳、水声社、2023年。	中谷碩岐	202311	水声社『コメット通信』での文献紹介 40,11-11	—	

その他	アラン・バディウ、アラン・フィンケルクロート『議論して何になるのかーナショナル・アイデンティティ、イスラエル、68年5月、コミュニズム』的場寿光・杉浦順子訳、水声社、2018年。	中谷碩岐	202311	水声社『コメット通信』での文献紹介40,11-11	—
-----	---	------	--------	---------------------------	---

学生氏名	布施 哲朗	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	書評: L'emotion éthique Levinas vivant I	布施哲朗	202403	共生学ジャーナル 8,未定-未定	—
その他	文献紹介: 『共産主義の理念』	布施哲朗	202310	小冊子『アラン・バディウ』とは誰か-ブックフェアによせて 15-15	—

学生氏名	毎床 玲音	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Jean GRENIER, Absolu et choix, Quimper : Calligrammes, 1986, 115pp.	毎床玲音	202403	共生学ジャーナル 8	—
その他	アラン・バディウ『ベケット: 果てしなき欲望』西村和泉訳、水声社、2008年。	毎床玲音	202311	コメット通信 40,10-10	—

学生氏名	松木 貴弥	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	西田幾多郎『無の自覚的限定』における個物と身体	松木貴弥	202307	哲学若手研究者フォーラム	—
学会・研究会等発表	(弁証法的物質的な身体) — 『無の自覚的限定』における個物と身体—	松木貴弥	202307	西田哲学会第21回大会	○
国際会議 (procあり)	Life as 'Re-Production': Consideration of the Concept of 'Reproduction' in Nishida Kitaro's 'Life'	Matsugi Takaya	202309	European Network of Japanese Philosophy	○

指導教員	稲場 圭信	講座/研究分野	共生社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	ZHAO MENGYING	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	現代日本における仏教寺院の社会的役割	趙梦盈	202306	宗教と社会学会第31回学術大会	—

指導教員	志水 宏吉	講座/研究分野	共生社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	小泉 かさね	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「COVID-19が理系研究室コミュニティにもたらした影響と課題—研究達成に必要な要因に着目して—」	小泉 かさね	202303	『共生学ジャーナル』 第7号,89-114	○
学術論文	「大学の研究室におけるルールを巡る相互作用の実態—理系研究室における構成員の社会的ネットワークに着目して—」	小泉 かさね	202306	『大学教育学会誌』 45,1,147-157	○
学術論文	「理系研究室コミュニティにおける教育の構造と変容—COVID-19のインパクトを軸に—」	小泉 かさね	202402	博士論文	○
学会・研究会等発表	「理系研究室コミュニティにおける学習の構造—COVID-19前・状況下の比較から—」	小泉 かさね	202402	2023年度高等教育研究開発センター公開研究会、広島大学高等教育研究開発センター、2024年2月7日	—

学生氏名	城山 嗣雄	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	ヤンキー生徒の卒業後の変容について—反社会集団に関係する者と真面目な生活に帰着する者との分岐点—	城山 嗣雄	202403	教育文化学年報 19	—

学生氏名	秋山 みき	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	社会関係資本を活かした学校づくり	若槻健・新谷龍太郎 他	202309	教育社会学会 第75回大会	—				
学会・研究会等発表	都市で育つ/育てる(2):教育をめぐる親子の苦悩	知念渉・瀬戸麗・栗原和樹・山口真美 他	202309	教育社会学会 第75回大会	—				
学会・研究会等発表	公正な教育実践の実態の比較研究—「現場の教授学」の視点から—	秋山みき	202307	2023 旭硝子財団助成研究発表会	—				

指導教員	渥美 公秀	講座/研究分野	共生行動論
------	-------	---------	-------

学生氏名	上杉 玲子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「誰のための」「何のための」支援か～日本で暮らす外国籍市民と支援者とのかかわりの「ずれ」に着目して～	實田玲子・渥美公秀	202304	実験社会心理学研究 63,1,1-13	○				

学生氏名	内山 志保	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	軽トラ市の視察が主催団体にもたらす意味についての考察	内山志保	202309	日本グループ・ダイナミクス学会第69回大会発表論文集 32-33 日本グループ・ダイナミクス学会第69回大会	—				
学会・研究会等発表	災間社会の災害復興の展望について	宮本匠、内山志保	202309	日本グループ・ダイナミクス学会第69回大会発表論文集 58-59 日本グループ・ダイナミクス学会第69回大会	—				
その他	運河景観を事例とした景観評価の手法開発	内山志保	202309	計画行政と中部 36,5-16	—				

指導教員	ETZRODT CHRISTIAN	講座/研究分野	共生教育論
------	-------------------	---------	-------

学生氏名	ZHANG SHIYUN	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	日本と中国における国際バカロレアの導入に関する調査	Shiyun Zhang	202309	日本国際バカロレア教育学会第八回大会	—				
学会・研究会等発表	Shift in Intimacy Circles: The Influence of Social Networking Services on International Students: Family Connections in the Digital Age	Shiyun Zhang	202310	共生学会第2次大会	—				
学会・研究会等発表	Digital Realms and Family Bonds: Information Reliance Among International Students in Japan	Shiyun Zhang	202312	Anthropology of Japan in Japan	—				

学生氏名	藤阪 希海	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	抵抗としての複雑さ: インターセクショナルな経験を可視化する協同オートエスノグラフィー	桂悠介, カツラ・シャハラ・バーヌ, 藤阪希海, なかだこうじえんりけ	202309	カルチュラル・タイフーン	—				
学会・研究会等発表	元・児童の語りに見る教室マルトリートメントへの抵抗	藤阪希海	202310	第96回日本社会学会大会	○				
学会・研究会等発表	「先生」の響き方	藤阪希海	202312	第1回オートエスノグラフィーと詩的探究フォーラム	—				

国際会議 (proc なし)	Millieu of Care: A Collaborative Autoethnography	Tepei Tsuchimoto, Aya Hayasaki, Chihiro Suzuki, Tamiyo Koyama, Mihoko Motooka, Mai Kannan, Yusuke Katsura, Rennan Okawa, Nozomi Fujisaka	202307	10th Anniversary of the International Conference of Autoethnography	○
-------------------	--	--	--------	---	---

指導教員	山本ベバリー・アン	講座/研究分野	共生教育論
------	-----------	---------	-------

学生氏名	木原 琴	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童養護施設において性(生)はどのように語られているのか—直接処遇職員と子どもの関わりに着目して—	木原琴	(選択)	日本ソーシャルワーク学会 (掲載確定・印刷待ち)	○				
学術論文	特集論文 人間の苦しみとキリスト教スピリチュアルケア 児童養護施設で育つ子どもたちとキリスト教スピリチュアルケア—バンラデシュの児童養護施設での実践から—	村上渡・○木原琴・市瀬晶子	(選択)	日本キリスト教社会福祉学会 (掲載確定・印刷待ち)	—				
学会・研究会等発表	バンラデシュの児童養護施設において性(生)はどのように語られているのか	木原琴	202306	日本子ども家庭福祉学会第24回全国大会	○				

学生氏名	ENKHTUR OYUNDELGER	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc あり)	The Significance of the Works of Mongolian Scholars on Compassion for Animals in the Present Time	Oyundelger Enkhtur	202308	12th International Congress of Mongolists	—				
国際会議 (proc なし)	Teachers' Perception of School Climate in Mongolian Secondary Schools	Oyundelger Enkhtur, Diana Gruman	202311	13th Biennial Conference of the Comparative Education Society of Asia	—				
国際会議 (proc なし)	Study abroad graduates as agents in building research university: Mongolian STEM faculties	Ariunaa Enkhtur, Oyundelger Enkhtur, Sainbayar Gundsambuu	202403	CIES 2024	○				
国際会議 (proc なし)	Addressing Inequality in Higher Education Access: Examining First-Year Students' Remote Learning Experience during Covid-19 in Mongolia	Oyundelger Enkhtur, Ariunaa Enkhtur, Sayamaa Dangaasuren	202403	CIES 2024	○				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	Web of Science JCR・2023	Oyundelger Enkhtur	202312	National University of Mongolia
受賞	“3 mintues of Inspiration for Sustainable Development” Osaka University Student Video Contest Encouragement Award	Linh Ngoc My Dao, Oyundelger Enkhtur	202312	Osaka University
助成金	John C. Street Endowment for Mongolian and Inner Asian Studies	Diana Gruman, Oyundelger Enkhtur	202309	Western Washington University – Institute for Global Engagement

学生氏名	松本 ミユ	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	保健体育科教員、養護教諭志望学生に対するセクシュアリティ教育の実施に関する文献調査	松本ミユ	202303	共生学ジャーナル 7,250-268	—				
学会・研究会等発表	教員が教える際に自信がある・ない性教育の内容とその理由—国立附属学校教員を対象としたアンケート調査から—	松本ミユ・山本ベバリーアン	202312	日本保健科教育学会第8回研究大会	—				
学会・研究会等発表	How do policies affect the implementation of sex education in Japan?	Miyu Matsumoto・Beverly Ann Yamamoto	202311	グローバルヘルス合同大会 2023	—				

指導教員	澤村 信英	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	LUO FANGZHOU	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	日本におけるアフリカ人留学生受け入れ状況と課題—北海道と関東地方の国立大学を事例に—	Fangzhou Luo	202403	『共生学ジャーナル』 8,掲載予定-掲載予定	○				
学会・研究会等発表	中国に留学したガーナ人学生の進路選択と帰国意思	羅 方舟	202306	日本比較教育学会第 59 回大会	○				
その他	中国の大学におけるアフリカ人学生の留学動機—高等教育の機会の多様化がもたらす新たな格差—	羅方舟・小川未空	202305	『SDGs 時代にみる教育の普遍化と格差』澤村信英、小川未空、坂上勝基編著 第 5 章 を執筆 109-125	○				

学生氏名	小松 勇輝	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	コートジボワールにおける長期休暇中の教育選択とその役割—初等教育に関わる子どもと保護者の視点から—	小松勇輝	202403	共生学ジャーナル 8	○				
学会・研究会等発表	コートジボワールにおける長期休暇中の有償教育選択とその役割	小松勇輝	202310	アフリカ教育学会第 32 回大会	—				
学会・研究会等発表	コートジボワールの初等教育における非認知能力の視点からみた教育の質	小松勇輝	202311	国際開発学会第 34 回全国大会	○				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	アフリカ教育学会第 32 回大会 最優秀研究発表賞	小松勇輝	202310	アフリカ教育学会

学生氏名	早川 穂乃花	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	The Influence of Parents' Educational Experiences and Attitudes on Children's Education in the Philippines -A Case Study of a Slum Community near a Waste Disposal Site	早川穂乃花	202310		—				

学生氏名	山口 菜々果	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ケニアにおける保護者の教育熱に関する考察—教育ライフストーリーの分析から—	山口菜々果	202309	日本アフリカ教育学会第 32 回大会	—				

指導教員	杉田 映理	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	マイヤー 幸子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	サヘル地域における水をめぐる問題と国家の危機の関係—仏企業による飲料水管理の権益とニジェール政府の選択から考察して—	マイヤー清水幸子	202312	沙漠研究 33,3,105-121	○				

学生氏名	宮村 侑樹	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	インドにおける国内出稼ぎ労働者の教育選択：保護者の子どもへの期待と教育継続の困難に着目して	宮村侑樹	202306	国際開発研究 32,1,115-129	○				
学会・研究会等発表	インドにおける国内出稼ぎ労働者の子どもへの期待と教育選択—家族で出稼ぎをする保護者の視点に着目して—	宮村侑樹	202304	第 18 回 (2022 年度) 南アジア学会修論・博論発表会	—				
学会・研究会等発表	インドにおける州内出稼ぎ労働者の子どもの不就学の要因 —保護者の出稼ぎによる移動に着目して—	宮村侑樹	202306	日本比較教育学会第 59 回大会	—				

学会・研究会 等発表	Factors Behind Educational Choices of Intra-state Migrant Workers in India - Focusing on parents and their children's perspective	Yuki MIYAMURA	202310	International Education Development Forum 2023	-
学会・研究会 等発表	How do intra-state migrant workers in India choose their children's education? Focusing on children's role in the families	Yuki MIYAMURA	202311	13TH BIENNIAL CONFERENCE OF COMPARATIVE EDUCATION SOCIETY OF ASIA	○
学会・研究会 等発表	インドにおける州内出稼ぎ労働者の生活と教育支援—学校が行う支援から生まれる排除の構造—	宮村侑樹	202402	国際ボランティア学会第 25 回大会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	特別研究員奨励費	宮村侑樹	202304	日本学術振興会

指導教員	大谷 順子	講座/研究分野	地域創生論
------	-------	---------	-------

学生氏名	GAO YUWEN	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	災害研究における「レジリエンス」に関する文献レビュー ¹⁾	高誉文	202403	共生学ジャーナル 8	-	
学会・研究会 等発表	A study on disaster management capabilities of international students – Take a private university in Japan as an example	GAO YUWEN	202306	XIX ISA World Congress of Sociology	○	
一般書	Reconstructing Resilient Communities after the Wenchuan Earthquake: Disaster Recovery in China	Otani, Junko. (ed.)	202311	Lexington: Roman & Littlefield 287-293		

学生氏名	宮崎 聖乃	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	ヒューマンライブラリーの理念・社会的意義とその実践について	宮崎聖乃	202307	公益社団法人日本語教育学会・宮地裕基金人材育成研修講座ヒューマンライブラリー開催者研修	-	

学生氏名	WANG YIXUAN	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	日中地震災害対応におけるソーシャル・キャピタルの有効性の違いに関する研究	王 藝璇・大谷順子	202403	人間科学研究科紀要 50,15-34	-	
学会・研究会 等発表	中国の都市におけるコミュニティレジリエンスの構築に関する質的研究—ソーシャル・キャピタルの視点から	王 藝璇	202311	国際開発学会第 34 回全国大会	○	
国際会議 (proc あり)	The Difference of Social Capital in Disaster Resilience between China and Japan : Comparative Case Analysis of the 2011 Great East Japan Earthquake and the 2008 Sichuan Earthquakes	Wang Yixuan	202306	The 20th International Sociology Association (ISA) World Congress of Sociology	○	
国際会議 (proc なし)	Gendered Vulnerabilities in the Aftermath of the 2021 Henan Floods : Exploring the Roles and Challenges of Women in Community Resilience	Wang Yixuan	202306	University of Melbourne - Osaka University 2023 Workshop "Women's and children's health and wellbeing following disaster: Toward a human-right-based recovering framework"	-	

学生氏名	新井 凜子	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	中国人留学生のライフストーリーに見る移動と国家	新井凜子	202306	日中社会学会第 35 回大会	-	
学会・研究会 等発表	(Im)Mobility of Chinese International Students amid COVID-19 Pandemic	Arai Rinko	202306	University of Melbourne - Osaka University 2023 Osaka-Melbourne Return Visit Workshop	-	
学会・研究会 等発表	Physical mobility, mobile-ability, and symbolic mobility: enabling mobilities at the time of disaster	Arai Rinko	202403	Osaka University – University of Melbourne Joint Research Workshop 2024	-	

国際会議 (proc なし)	The Internalisation of State Ideologies by Minorities: A Comparison of the National Language Education in China and Japan	Arai Rinko	202306	XX ISA World Congress of Sociology	○
国際会議 (proc なし)	"We Gotta Run": How Chinese Students in Japan Navigate Pressures in Life	Arai Rinko	202311	2023 AAA/CASCA Annual Meeting	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	第39回(2023年度)研究者海外派遣援助	新井凜子	202306	公益財団法人 村田学術振興財団

学生氏名	LI JING	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Japan's Disaster Medical System and Response to the Covid-19	LI JING	202307	XX ISA World Congress of Sociology	○
国際会議 (proc なし)	A qualitative study of the impact of the COVID-19 pandemic on women with eating disorders who attend eating disorder self-help groups in Japan	LI JING	202308	The 17th International Conference of the European Association for Japanese Studies.	○
国際会議 (proc なし)	Research on Women's Self-Help Community During Long-Term Evacuation: Following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident	LI JING	202403	2024 Association for Asian Studies	○
その他	Research on Women's Self-Help Community During Long-Term Evacuation: Following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident.	LI JING	202303	Osaka University – University of Melbourne Joint Research Workshop 2023 "Women's and children's health and wellbeing following disaster: Toward a human-rights-based recovering framework" (Osaka)	—
その他	Mental Care for Occupants of a Welfare Facility for Older Adults in the Disaster-Affected Area of Sichuan.	LI JING	202311	Otani, Junko (Ed.), Reconstructing Resilient Communities after the Wenchuan Earthquake, Lexington, Rowman&Littefield.2023 81-114	○
その他	Fukushima women evacuees relocated in Okayama and their recovery activities	LI JING	202403	Osaka University – University of Melbourne Joint Research Workshop 2024 "Community-based opportunities to amplify the capacities of women and children in disaster contexts: a strength based approach" (Melbourne)	—

指導教員	河森 正人	講座/研究分野	地域創生論
------	-------	---------	-------

学生氏名	横山 明子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Thailand's Personal Assistance Service for Persons with Disabilities Evolved?	Yokoyama, Akiko and Punpuing, Kamolpun	202401	Disability, CBR & Inclusive Development 34,3,86-103	○
学術論文	Transformation of Socially Constructed Disability: Social Practice of Disabled People in Thailand	Yokoyama, Akiko	202403	Annals of the Austrian Geographical Society 165	○
学会・研究会 等発表	社会的に構築された障害への批判と社会的実践によるその変革—タイ障害者の経験と語りを通じて—Have	横山 明子	202306	国際開発学会第24回春季大会報告論文集	○

指導教員	藤目 ゆき	講座/研究分野	地域創生論
------	-------	---------	-------

学生氏名	LI QINGLING	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	『不屈の女性 万愛花大姉』	李青凌 (LI QINGLING)	202309	『アジア現代女性史』 16,56-63	○

指導教員	MOHACSI Gergely	講座/研究分野	コンフリクトと共生
------	-----------------	---------	-----------

学生氏名	陸口 雄斗	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	男子学生による月経とかかわった経験と月経観形成プロセスとの関連	三浦遥、陸口雄斗、西村尋、YUN YA JING、宮本幸乃	202403	未来共創 未定-未定	○				
学会・研究会等発表	「共に生きる」を開発する——人と関わるロボットの開発を巡る民族誌的考察	陸口雄斗	202402	日本文化人類学会近畿地区研究懇談会 2023年度修士・博士論文発表会	—				

2-2-5. PDの研究記録

行動学系

指導教員	入戸野 宏	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

氏名	水原 啓太			PD		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	Effects of the cardiac cycle on auditory processing: A preregistered study on mismatch negativity.	Li, L., Ishida, K., Mizuhara, K., Barry, R. J., & Nittono, H.	(選択)	Psychophysiology	○	
学会・研究会等発表	呼吸位相と心拍位相が視覚刺激の弁別精度に及ぼす影響	水原 啓太・入戸野 宏	202305	第 41 回日本生理心理学会大会	—	
学会・研究会等発表	呼吸位相が情動視覚刺激の知覚に及ぼす影響	水原 啓太	202309	日本心理学会第 87 回大会	—	
学会・研究会等発表	呼吸位相と情動知覚	水原 啓太	202309	日本心理学会第 87 回大会	—	
解説・総説	鼻から息を吸うと表情が識別しやすい	水原 啓太	202401	心理学ワールド 104,20,21	—	
国際会議 (proc あり)	Breathing in through the nose facilitates discrimination of emotional facial expressions.	Mizuhara, K., & Nittono, H.	202306	21st World Congress of Psychophysiology (IOP2023)	—	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費)	水原 啓太	202304	日本学術振興会